

石川県立歴史博物館

年 報

第 15 号
平成 23 年度版

発行にあたって

平成 23 年度は、例年開催している特別展・企画展に加え、姉妹館である韓国国立全州博物館で交流展を開催するなど、7本の展覧会を軸に充実した博物館活動を行いました。

特別展を総覧すると、春季特別展「暮らし&娯楽の大博覧会ー昭和ヒストリー 1926～1989ー」は、昭和時代を暮らしの道具と娯楽の資料をもとに振り返り、激動の時代を生きた人々のエネルギーを感じてもらいました。夏季特別展は北陸中日新聞、石川テレビおよび当館が主催の形で、貸館の展覧会「宮廷の雅展 有栖川宮家から高松宮家へ」を開催し、江戸時代初期に創設された有栖川宮家と、同家から祭祀を継承した高松宮家に伝来した貴重な文化財を一堂に展覧しました。秋季特別展「染の華 織の心ー加賀・能登の技とデザインー」では、県内にのこる近世以降の染織品を紹介し、石川が誇る優れた染織技術と多彩な意匠を育んだ背景を探りました。そして姉妹館交流 20 周年を記念して開催された特別展「平和と繁栄ー江戸時代の石川の社会と文化」は、加賀藩の歴史と文化を軸に「日本の江戸時代」を紹介したもので、開幕式には谷本県知事も出席し、盛大なセレモニーが行われました。江戸時代をテーマとした本格的な特別展が韓国で開催されるのは初めてのことであり、加賀藩の文化を体感するための多彩な教育プログラムもあわせて行われるなど、大変意義深いものとなりました。

博物館リニューアルに関しては、前年度に取りまとめられた『歴史博物館リニューアル基本構想』をもとに、具体的な展示内容や博物館機能の改善、サービスのあり方などについて討論を重ねることで、新しい博物館の姿が少しずつ明確になっていきました。また同時に、リニューアルに関わる業務や課題の多さも実感し、職員にとっては身の引き締まる 1 年となりました。いよいよ約 2 年間の休館に入り、リニューアル事業が本格的にスタートしますが、新しい博物館が交流や学びの場として皆様に一層親しまれるものとなるよう、努力を続けていきたいと感じています。

ここに、平成 23 年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

石川県立歴史博物館

目		次	
基本構想・利用案内	2	Ⅲ. 組織と運営	
		1. 職員組織	36
		2. 職員名簿	36
		3. 予算及び決算	36
		4. 事務分掌	37
		5. 各種委員会	38
		6. 入場料について	39
I. 平成 23 年度の事業		Ⅳ. 関係条例・規則	
1. 展示活動	3	1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	40
2. 調査研究活動	23	2. 石川県立歴史博物館管理規則	40
3. 資料収集保管活動	25	3. 石川県立歴史博物館使用料条例	41
4. 教育普及活動	28	4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則	42
5. 入館状況	33		
Ⅱ. 施設概要		Ⅴ. 日記 (抄)	43
1. 設備概要	34		
2. 各室面積一覧	34		
3. 館内平面図	35		

基本構想

- (1) 兼六園文化ゾーンの一つの核に位置づけ、ふるさと石川を中心とした歴史と文化を正しく理解し、その継承と発展に資する学習の場として構成する。
- (2) 日本海沿岸地域における石川の歴史と文化に関連する資料を重点的体系的に収集保管・調査研究・公開展示し、あわせてこれらについての情報を提供する。
- (3) 普及活動の強化を図り、特に学校教育との連携を強め『学習の場としての博物館』をめざす。
- (4) 生涯学習の場として、広く県民に活用され、参加できる『開かれた博物館』をめざす。

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 年末年始・展示替期間

入館料 一般250(200)円 大学生200(160)円
65歳以上200円 高校生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※特別展期間中は入館料変更

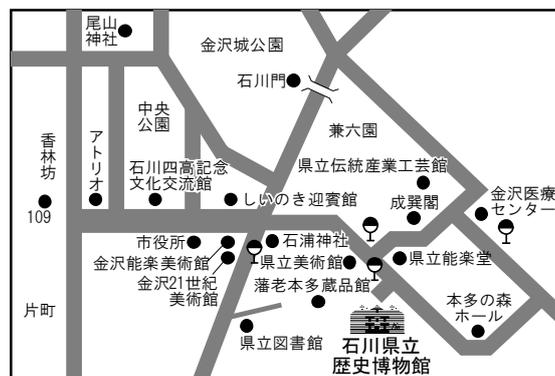
交通 徒歩 / 兼六園から約3分
バス / 北陸鉄道バス「出羽町」下車 徒歩約5分
「広坂」下車 徒歩約8分

タクシー / JR金沢駅から約15分

自動車 / 北陸自動車道 金沢西ICから約30分
森本ICから約20分

駐車場 50台（無料）

所在地 石川県金沢市出羽町3番1号



I. 平成 23 年度の事業

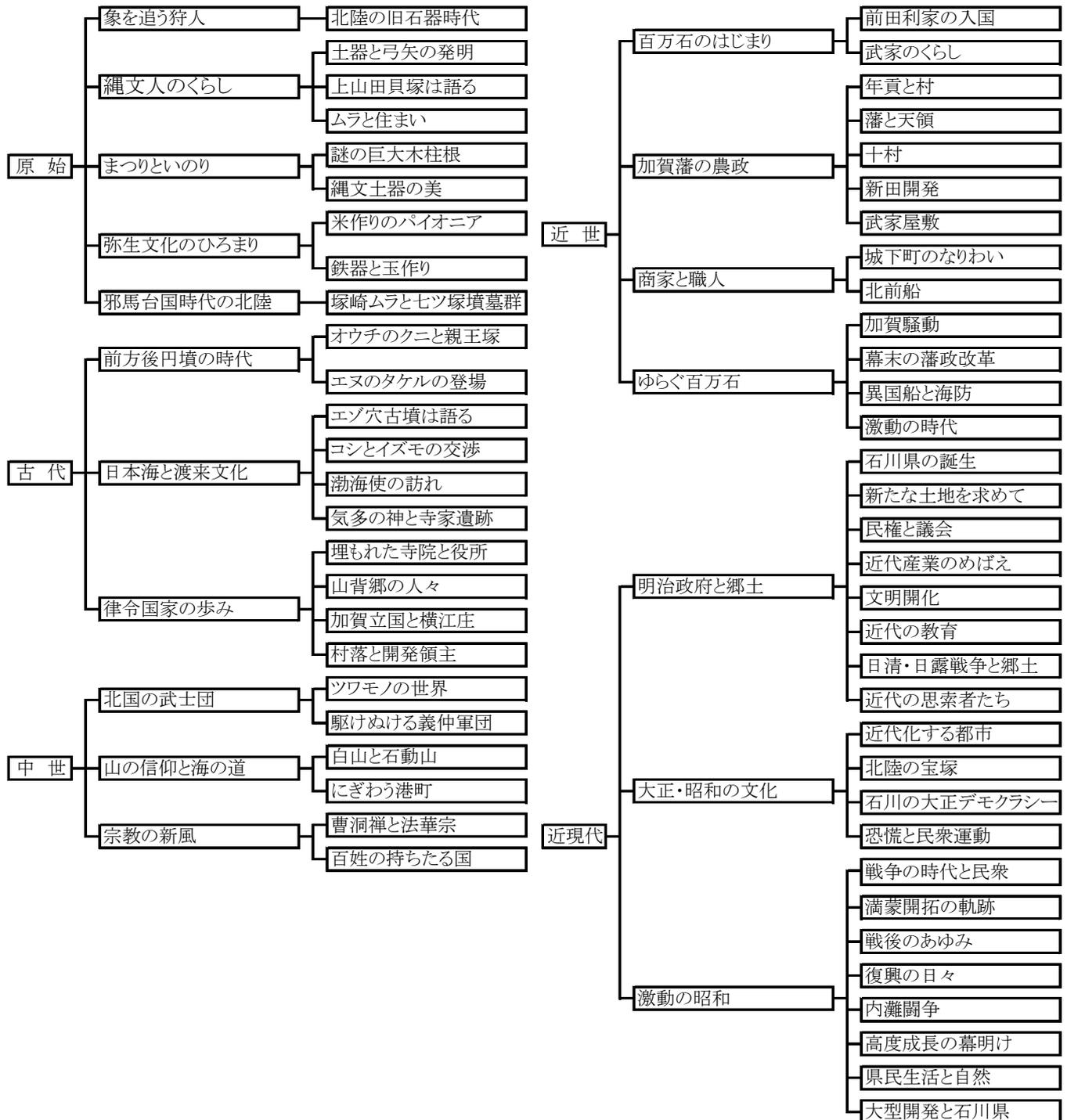
1. 展示活動

(1) 常設展示：石川の歴史と文化 I・II

＜第1・2展示室＞

常設展示は、石川県の歴史を特に社会経済及び文化史的な面から、中央と地域史を整合させつつ、環日本海文化の視点にたって、編年体で配列することを基本的な考え方としている。

展示の構成



原始 原始コーナーでは、旧石器時代から弥生時代までの歩みを、発掘調査の成果をもとに展示している。旧石器時代の狩人たちが用いた各種の石器や、北陸の厳しい風土に生きた縄文人のくらしの知恵や祈りについて紹介している。また、弥生時代では、米づくりを始めた新しい生活と、北陸地方で発達した玉作りなどの技術に焦点を合わせるとともに、古墳出現前夜のようなすについても触れる。



古代 親王塚古墳や狐山古墳などの大型古墳の出現をたどりながら、国家統一を進めた畿内勢力との関係を探る。また、渡来系のエゾ穴古墳を復元展示すると共に、渤海交渉を取り上げ、古代の郷土が大陸交渉の北の門戸であったことを紹介する。律令時代では、寺院跡・官衙跡の出土品や山背郷計帳などを展示し、地方行政と民衆の暮らしを紹介する。さらに、初期荘園の成立から開発領主の誕生までを、考古学の成果をもとにたどる。

中世 平安後期に誕生した武士団を、源平の争乱を通して考える。また白山と石動山に代表される山岳信仰の世界を、寺社資料を中心に紹介し、さらに日本海の海上輸送によりにぎわった大野庄湊の様子を、普正寺遺跡の出上遺物で表現している。次に鎌倉新仏教の新風として、曹洞禅と日蓮宗を取り上げ、最後に守護大名の支配に抵抗し、「百姓の持ちたる国」をつくりあげた加賀の一向一揆について、考古資料をまじえて紹介する。

近世 第1展示室では、百万石大名前田氏の成立と武家のくらしを紹介するほか、武士を支えた農村の姿を、年貢や村のしくみ、十村制度などで総合的に展示する。第2展示室では、近代への導入として城下町金沢のなりわいを取りあげ、また北前船の資料も展示する。藩体制の崩壊過程は、加賀騒動・幕末の藩政改革・異国船と海防・激動の時代の4つの区分で表現する。



近現代 石川県の近代百年の歩みを、北陸全体の動きと関連づけながら紹介する。明治期では、自由民権運動・殖産興業・文明開化・日清日露戦争など、大正から昭和にかけては、金沢郊外粟ヶ崎遊園の賑いを中心に大衆文化の様相を再現し、DVD映像を使って社会の流れを紹介する。昭和に入っては、戦争と民衆の生活など激動の時代の姿を展示し、最後に、戦後石川の歩みを写真構成でたどる。また展示の一環として、DVD映像の映写ホール〈キネマシアター〉を設け、県内に残る大正～昭和初期の古いフィルムを100インチの大画面映像で再生する。

(2) 常設展示：石川の歴史と文化Ⅲ <第3展示室>

ここでは、町・海・山・里の人々のくらしの知恵、心にひそむ願い・祈りにスポットを当てて、家屋の移築復元等で臨場感あふれる大型展示を取り入れている。また、里のコーナーでは、大型3面マルチビジョンで加賀能登の農耕儀礼を紹介している。

- 旧鶴来町の商家復元と祭の獅子飾り
- 珠洲市の舟小屋復元と海辺の絵馬堂
- 白山麓の民家復元と焼畑収穫祭
- 農耕儀礼ビデオとワラの信仰民具

(加賀能登の農耕儀礼マルチビデオプログラム)

1. あえのこと (8分)
2. スサノオ神話の祭り (9分)
3. 猿鬼とたぶの木 (7分)
4. 実盛の怨霊祭り (9分)



(3) 姉妹館交流コーナー <第1棟2階>

展示期間	展示内容
4月1日～3月31日	韓国国立全州博物館との交流事業の紹介

(4) 歴史スポット展示コーナー <第4展示室>

歴史スポット展示コーナーでは、各学芸員が特に注目する資料や、話題の資料を小さな企画展示の形で紹介し、1～2か月ごとに展示替えを行っている。(第4展示室を特別展会場等を使用する場合は開催しない。)

展示期間	展示テーマ
3月24日～4月20日	昭和初期の世相
6月8日～7月13日	成長への祈りー出産・子育ての儀礼と信仰ー
7月16日～9月20日	県庁の菊花紋章 (夏季特別展関連展示)
9月23日～11月3日	絵巻・刷物で行くー能登・加賀ー
11月5日～12月26日	千秋家と末森合戦
1月4日～2月5日	金沢の先触れ面ー消えゆく仮面文化ー
2月8日～3月20日	びっくり!埋蔵銭がザックザク
3月23日～4月18日	『平家物語』を読んで、見る?



姉妹館交流コーナー



歴史スポット展示コーナー

(5) 常設展示：近世・近代の科学と技術 <第5・6展示室>

近代科学・技術の発達の様子を、主としてその導入過程を中心に展示する。その際、技術史部門では「金沢製糸場」の復元をメインに地域の技術の歴史を、また科学史部門では医学・からくり・和算測量など、様々な分野の科学技術の歴史を地域の視座から、それぞれ近世の事例を中心に多様な資料で紹介する。

技術史 石川県においては、その基幹産業である繊維と繊維機械産業の誕生と展開を軸に、産業革命に至る技術の歴史をたどることができる。明治7年に創設された金沢製糸場は、旧藩士長谷川準也らの手により官営の富岡製糸場にならって経営されたもので、士族授産事業の一環として、県下の殖産興業の先駆けとなった。同製糸場錦絵にみえる動力源の水車とこれに連動する糸操機は、この段階での技術水準をよく示している。なお製糸場の実際の建設にあたった津田吉之助は、尾山神社神門を設計するなど、石川県の文明開化に深くかかわった人物であり、その息子米次郎は絹織機の発明に尽力、輸出羽二重を中心とした繊維産業の近代化に大きく貢献した。このほか硬質陶器、自転車リム製造など、全国的にも特徴的な産業技術にみるべきものがある。



- 繊維の技術史
- 殖産興業と水車

科学史

幕末維新期の加賀藩の科学史には、いくつかの注目すべきものがある。医学・薬学では、高い水準の本草学を基礎に、黒川良安などが近代医学を導入、お雇い外国人の協力も得て全国的にも早いスタートを切った。和算、天文、測量では、辰巳用水の先駆的な事例をはじめとして、幕末には遠藤高璟・河野久太郎・石黒信由ら多くの人材を輩出した。

さらに、地理的な要因もあって、加賀藩は早くから海防に力を注ぎ、「梅鉢海軍」とよばれる艦隊を保持するに至る。その際、洋式兵学校壮猶館や七尾語学所、大聖寺藩士らが初めて琵琶湖に就航させた外輪汽船「一番丸」など、これを支えた教育機関や軍事技術の利用の側面にもみるべきものがあつた。また、からくりで知られる大野弁吉も、写真技術やエレキテルなどの理化学の分野で注目されている。

- 医学・化学・博物学 ●天文・暦学 ●科学者弁吉
- 和算・測量 ●兵学 ●土木技術

(6) 常設展示：江戸時代の暮らし <第7展示室>

この展示室は、資料に基づいて江戸時代の日常生活の一端を表現している。武士・農民・町人それぞれのテーマは異なるが、いずれも人々の暮らしに焦点を当て、模型やアニメーション、映像システムなどを駆使して展示している。

武士

武士のコーナーでは、武士が成長していくうえでの人生儀礼と家の相続にスポットをあて、史料を数多くとり入れたアニメ番組「小太郎君の武家社会」として紹介している。番組を展開するステージとして、ターンテーブルの上に、武家屋敷の模型と広間での袴着の場を造り、「小太郎君」といっしょに体験してもらえるように工夫した。側面には、武士の一生に関わる史料（古文書など）を展示している。

**農民**

江戸時代の農村の人々の生活の一端を垣間見る。有力百姓村松家に残ったメニューより再現した食事からは当時の食生活を、農具からは日々の生業の有様を、また、元十村土屋又三郎の筆による『農業図絵』からは、農作業の詳細な過程や人々の生活の様子を見い出すことができる。そして、『民家検労図』に描かれた精密な農作物の図には、土に生きた人々の農作物への強い関心が表れている。

町人

町人のコーナーでは、「城下町を歩く一金沢城下図屏風」と「店のしるし」をメインテーマとしている。

「城下町を歩く」では、石川県指定文化財の「金沢城下図屏風」のコルトンと、屏風に描かれた人々の暮らし、建物の様子等、6本の番組が展観できる。

「店のしるし」には、江戸時代から明治時代に至る各種店舗の看板を展示している。当時の店の特徴を表現したものもあり、商人の工夫がよくわかる。

(7) 常設展示：館蔵コレクション <第8展示室>

博物館の大きな役割の一つに、資料の収集がある。本館でも、昭和42年以来、中世陶器（珠洲古陶）、農業開発（地方文書・農具）、海運（北前船関係資料）、加賀藩の学芸（俳諧資料、工芸関係資料）、教育（教科書）、諸職（職人関係資料）などの収集活動を進めてきた。この展示室では、こうした「館蔵コレクション」の中から、ともすれば埋もれがちな地域に密着した資料を選び、中世から近代までの生活史の一コマを、実物資料を通じて御覧いただけるよう展示している。

- 珠洲古陶 ●金工 ●下駄づくり
- 仏壇 ●北前船 ●音と光の機器



(8) 歴史体験コーナー

このコーナーは児童生徒が歴史の教材内容を理解するための“体験し学習する博物館”として設けている。各時代を代表するようなテーマを選択し、それに関連した実物資料などに実際に手を触れ、または試すという体験学習を基礎に、パネル教材を補助として歴史学習を行うものである。常設展示の一部であり、いつでも利用できるようになっている。

また、体験コーナーの一角に、子供向図書の閲覧コーナー「寺子屋れきはく」を開設している。

近現代編 テーマ／暮らしと遊び

平成 23 年 4 月 6 日(水)～8 月 28 日(日)

近現代は、「暮らしの近代化」と「子供の遊びと集団」の 2 つのテーマで構成している。

今日に至る百数十年の間には、国民生活を深く揺り動かすさまざまな出来事が起こり、この間わたしたちの社会は急速に変化して来た。このコーナーでは、こうした変化を、生活用具や身の回りの音の変化で感じてもらう。

なかでも、子供の遊びは、社会とともに大きく変化しており、一方で、遊びを通じての「集団づくり」が、人間関係の「学習」であったことも忘れてはならないだろう。こうした「遊び」の変遷と役割を「家の中での遊び」「屋外での遊び」の両面から体験してもらう。



近現代編

● 「住」のメニュー

- ・新しい音を聞く
(近代の「新しい音」を聞き比べる)
- ・生活用具の近代化
(身の回りの道具の発達の様子)
- ・鹿鳴館の衣装を着てみよう

● 「遊」のメニュー

- ・“うち”での遊び
(おはじき、おじゃみ、おてだま、双六、将棋、コリントゲームなど)
- ・“そと”での遊び
(ベーゴマ、ビー玉、メンコ、ケン玉など)

近世編 テーマ／旅と米

平成 23 年 9 月 6 日(火)～平成 24 年 3 月 25 日(日)

近世では、「旅」と「米」をテーマとして、江戸時代の交通と商業、封建制と人々の暮らしに関する体験学習を行った。また、イラストや図パネルにより、幕藩体制における身分制度、それに支えられた政治・経済の基本的なことがらも学習してもらった。

「旅」のコーナーでは、江戸時代と現在の交通を比較し、産業や交通の発達により商業が盛んになる様子などを紹介した。

また「米」のコーナーでは、武士と農民の暮らしを、米を素材として紹介した。



近世編

● 「旅」のメニュー

- ・駕籠に乗ってみよう
- ・旅の衣装を着てみよう
- ・千両箱を持ってみよう

● 「米」のメニュー (武士と農民)

- ・甲冑を着てみよう
- ・姫君の衣装を着てみよう
- ・袴を着てみよう
- ・前田利家の一生を双六で追ってみよう
- ・農具に触ってみよう (唐箕)

展示風景



体験ゾーン



トークショー



ギャラリートーク



夏季特別展 宮廷の雅展 有栖川宮家から高松宮家へ

高松宮家と、高松宮家とその祭祀を継承された有栖川宮に伝来した、貴重な美術品、典籍、古文書、調度、衣装などを展示し、近世から現代までの宮家の生活と宮廷の雅の世界を紹介する展覧会。



会 期 平成 23 年 7 月 16 日(土)～8 月 28 日(日)
[44 日間] ※会期中無休

主 催 北陸中日新聞、石川県立歴史博物館、石川テレビ

共 催 学習院大学

入 館 料 一般 1,100(900)円 大学生 600(400)円
小中高校生 300(200)円 65 歳以上 900 円
※()内は 20 名以上の団体料金

会 場 第 1・2 特別展示室

展示構成

- (1) 有栖川宮家の創始、修学院の風流
- (2) 文化の継承
- (3) 明治維新と有栖川宮家
- (4) 宮家の饗宴
- (5) 高松宮宣仁親王－皇族に生まれて－
- (6) 学習院－皇族・華族の学び舎－
- (7) 成年皇族として
- (8) 皇族のくらし－戦後から現代

主な展示品 (総展示数 279 点)

出品資料一覧のとおり

催 物

講演会

日 時：7 月 23 日(土) 13:30～15:00
演 題：「二つの修学院図屏風」
講 師：小林 忠氏 (学習院大学教授)
会 場：学習ホール
聴講人数：70 人

ギャラリートーク

日 時：7 月 23 日(土) 15:00～15:30
講 師：小林 忠氏 (学習院大学教授)
場 所：当館第 1 特別展示室
参加人数：70 人

出品資料一覧

●=国宝 ◎=重要文化財 □=石川県指定文化財 △=市指定文化財

第1章 有栖川宮家の創始、修学院の風流			
1	七首和歌懐紙	後陽成天皇筆	1幅 国立歴史民俗博物館
2	五十首和歌懐紙	後陽成天皇筆	1軸 国立歴史民俗博物館
3	鷹攫雄図	後陽成天皇筆	1幅 国立歴史民俗博物館
4	和歌懐紙	後水尾天皇筆	1幅 徳川美術館
5	和歌懐紙	後水尾天皇筆	1幅 個人
6	和歌色紙	後水尾天皇筆	1幅 個人
7	好仁親王自筆書状 江月宗玩宛	好仁親王筆	1幅 個人
8	光子内親王自筆仮名消息 聖護院道覚法親王宛	光子内親王筆	1幅 個人
9	和歌色紙	後西天皇筆	1紙 個人
10	和歌懐紙	後西天皇筆	1幅 徳川美術館
11	後西天皇自筆書状 聖護院道覚法親王宛	後西天皇筆	1幅 個人
12	一乘院真歌法親王狂歌詠草 後西天皇勅返	一乘院真歌法親王・後西天皇筆	1幅 個人
13	達磨図	後西天皇筆	1幅 国立歴史民俗博物館
14	靈元天皇像	風早公雄筆	1幅 国立歴史民俗博物館
15	和歌短冊手鑑	靈元天皇・幸仁親王ほか筆	1帖 個人
18	鶴図	靈元天皇自画賛	1幅 国立歴史民俗博物館
21	百人一首	熾仁親王筆	1帖 国立歴史民俗博物館
22	富士図	土佐光孚筆 熾仁親王賛	1幅 個人
23-2	梨子地菊紋唐草文毛抜形大刀拵		1腰 東京国立博物館
28	梨子地鳳凰文細大刀拵		1腰 東京国立博物館
31	梨子地桐三葉葵紋飾大刀拵		1腰 個人
33	小直衣 熾仁親王着用	青地三つ菊丸文様織取織 裏・紫平絹	1領 京都国立博物館
35	小直衣 熾仁親王着用	麴懸鶴文様織文紗	1領 京都国立博物館
37	三つ菊紋盥・湯桶		1具 宮内庁三の丸尚蔵館
38	修学院図屏風		1幅 個人
39	京名所春秋図屏風(修学院図屏風)	生駒等寿筆	1幅 個人
40-1	修学院御幸図屏風(御幸図)	垣本雪臣筆	1幅 大阪青山歴史文学博物館
40-2	修学院御幸図屏風(修学院図)	垣本雪臣筆	1幅 大阪青山歴史文学博物館
41	御切形茶碗	修学院焼	1口 滴翠美術館
43	宝珠形香合	野々村仁清作	1合 個人
44	竹茶杓	妙法院堯然法親王作	1本 個人
45	竹茶杓	常修院慈胤法親王作	1本 個人
47	竹一重切花生	常修院慈胤法親王作	1口 個人
48	竹茶杓	後西天皇作	1本 徳川美術館
49	竹茶杓 銘 清見かた	金森宗和作	1本 個人
50	竹一重切花生 銘 鶯	詔仁親王作	1口 個人
51	香木 真南蛮 銘 塩竈	後水尾天皇勅銘	徳川美術館
55	香木 真南蛮 銘 初花	後西天皇勅銘	徳川美術館
56	香木 伽羅 銘 瀧の白玉	後西天皇勅銘	徳川美術館
57	香木 羅国 銘 竹河	靈元天皇勅銘	徳川美術館
第2章 文化の継承			
62	伏見殿文庫記録目録	靈元天皇筆	1冊 国立歴史民俗博物館
63	柿木人磨像	伝 藤原信実筆 靈元天皇賛	1幅 国立歴史民俗博物館
67	◎大手鑑		1帖 京都国立博物館
68	記録切	藤原定家筆	1幅 国立歴史民俗博物館
69	◎新楽府 白氏文集	伝 伏見天皇筆	1通 国立歴史民俗博物館
70	◎和漢朗詠集	伏見天皇筆	1巻 国立歴史民俗博物館
71-2	◎伏見天皇宸翰御歌集 広沢切	伏見天皇筆	1巻 国立歴史民俗博物館
72	◎源氏物語抜書	伝 伏見天皇筆	1巻 国立歴史民俗博物館
75	後撰和歌集	伝 二条為世ほか筆	1帖 国立歴史民俗博物館
76-2	新勅撰和歌集(下)	伝 世尊寺経朝筆	1帖 国立歴史民俗博物館
79	詩歌手本	伝 世尊寺行尹筆	1巻 国立歴史民俗博物館
81	伊勢物語	三条西実隆筆	1帖 国立歴史民俗博物館
83	東北院職人歌合絵巻		1巻 国立歴史民俗博物館
84	うたたね草紙絵巻	土佐光信筆	1巻 国立歴史民俗博物館
85	色紙手鑑	三條西実隆筆	1帖 国立歴史民俗博物館
99-2	三代集(後撰和歌集)		1帖 国立歴史民俗博物館
101	観象詩歌	靈元天皇ほか筆	1冊 国立歴史民俗博物館
103	大かみ絵詞 巻三下		1巻 国立歴史民俗博物館
104	太平記絵詞 中巻	海北友雪筆	1巻 国立歴史民俗博物館
105	富嶽山水絵巻	狩野常信筆	1巻 国立歴史民俗博物館

第3章 明治維新と有栖川宮家			
108	明治天皇肖像写真	内田九一撮影	1枚 学習院大学史料館寄託
109	昭憲皇太后肖像写真	内田九一撮影	1枚 学習院大学史料館寄託
110	和歌短冊	明治天皇・昭憲皇太后筆	1面 熱田神宮
111	熾仁親王肖像	エドアルド・キヨソーネ筆	1面 國學院大學
113	熾仁親王肖像写真		1枚 学習院大学史料館
114	熾仁親王銅像	新海竹太郎作	1体 大阪青山歴史文学博物館
116	旗(錦の御旗)	熾仁親王所用	1旗 東京国立博物館保管
122	桐鳳凰文鞍・鏡	熾仁親王所用	1具 東京国立博物館保管
123	大総督熾仁親王京都進発	高取雅成筆	1面 明治神宮
127	和歌懐紙	熾仁親王筆	1幅 徳川美術館
129	紺紙金字阿弥陀経	熾仁親王筆	1巻 大徳寺龍光院
130	二大字 仁義	熾仁親王筆	1幅 熱田神宮
131	額 穆如閣	熾仁親王筆	1面 徳川美術館
132-1	熾仁親王所用印章「熾仁」		1顆 國學院大學
132-2	熾仁親王所用印章「震堂」		1顆 國學院大學
132-3	熾仁親王所用印章「後楽」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-4	熾仁親王所用印章「陸軍大将」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-5	熾仁親王所用印章「熾仁之章」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-6	熾仁親王所用印章「飲和欽順」		1顆 國學院大學
132-7	熾仁親王所用印章「一品親王」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-8	熾仁親王所用印章「熾仁」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-9	熾仁親王所用印章「含潤韞蓄」	羽倉可亭刻	1顆 國學院大學
132-10	熾仁親王所用印章 印箱		1合 國學院大學
133-1	熾仁親王所用印章「大勲位」		1顆 國學院大學
133-2	熾仁親王所用印章「熾仁親王」		1顆 國學院大學
133-3	熾仁親王所用印章「熾仁親王」		1顆 國學院大學
133-4	熾仁親王所用印章「欽堂翰墨」		1顆 國學院大學
133-5	熾仁親王所用印章「布惠行惠」		1顆 國學院大學
133-6	熾仁親王所用印章「本立而光生」		1顆 國學院大學
133-7	熾仁親王所用印章「文臣不愛錢武臣不惜死」		1顆 國學院大學
133-8	熾仁親王所用印章「熾仁之印」		1顆 國學院大學
133-9	熾仁親王所用印章「三品親王」		1顆 國學院大學
133-10	熾仁親王所用印章印箱		1合 國學院大學
134-1	和筆	攀桂堂 十二世藤野雲平作	1本 宮内庁三の丸尚蔵館
134-5	唐筆 銘 歳己巳 廉文竹斎製思文監造	光緒30~31年(1905)	1本 宮内庁三の丸尚蔵館
134-8	唐筆 銘 廉文竹製		1本 宮内庁三の丸尚蔵館
134-10	和筆 銘 筆龍	攀桂堂 十二世藤野雲平作	1本 宮内庁三の丸尚蔵館
134-12	和筆 銘 筆龍	攀桂堂 十二世藤野雲平作	1本 宮内庁三の丸尚蔵館
134-13	和筆		1本 宮内庁三の丸尚蔵館
135	手造茶碗	熾仁親王作	1口 徳川美術館
137	伊勢物語図印籠 銘 光柳	熾仁親王所用	1具 國學院大學
138	菊紋唐花唐草文鞍・鏡		1具 國學院大學
第4章 宮家の饗宴			
140	ディナーセット		6セット 上野の森美術館
141-1	名古屋城夜会招待状		1枚 学習院大学史料館
141-2	有栖川宮家招待状 熾仁親王同記による茶話会		1枚 学習院大学史料館
141-3	有栖川宮家招待状 熾仁親王による晩餐会		1枚 学習院大学史料館
142	重色紙形ボンポニエール		1合 大阪青山歴史文学博物館
143	丸形ボンポニエール		1合 大阪青山歴史文学博物館
144	八稜鏡形ボンポニエール		1合 大阪青山歴史文学博物館
145	柏葉宮形ボンポニエール	大正大礼大饗第二日	1合 学習院大学史料館寄託
146	鳥籠形ボンポニエール	フランス新任大使ポール・コーデル氏との午饗	1合 学習院大学史料館寄託
147	印籠形桐文ボンポニエール	イギリス エドワード皇太子歓迎晩餐会	1合 学習院大学史料館寄託
148	六角箱形鶴松文ボンポニエール	皇太子(昭和天皇)成婚	1合 学習院大学史料館寄託
149	箱形葵文ボンポニエール	秩父宮雅仁親王 松平勢津子結婚	1合 学習院大学史料館寄託
150	大太鼓形ボンポニエール	昭和大礼大饗第二日	1合 学習院大学史料館寄託
151	威儀鉢形ボンポニエール	昭和大礼	1合 学習院大学史料館寄託
152	釣灯籠形ボンポニエール	昭和大礼大饗第二日夜宴	1合 学習院大学史料館寄託
153	複葉機形ボンポニエール	朝香宮彦彦王成年式	1合 学習院大学史料館寄託
154	牛車形ボンポニエール	ベルギー特派大使タイス氏との晩餐	1合 学習院大学史料館寄託
155	鳥兜形ボンポニエール	皇太子(今上天皇)誕生	1合 学習院大学史料館寄託
156	扇形竹文ボンポニエール(北白川宮家紋章付)	北白川佐和子女王 東園基文結婚	1合 学習院大学史料館寄託

157	八稜鏡形梅花文ボンニエール		1合	学習院大学史料館寄託
158	桃の実形小皿(北白川宮家紋章付)		1合	学習院大学史料館寄託
159	八稜鏡形ボンニエール		1合	学習院大学史料館寄託
160	鷹架形ボンニエール		1合	学習院大学史料館寄託
161	折檻形天馬文ボンニエール(閑院宮家紋章付)		1合	学習院大学史料館寄託
162	諷鼓鏡形ボンニエール		1合	学習院大学史料館寄託
164	真珠飾七宝香水入置時計	スイス製	1個	公益財団法人 高松宮記念研究基金
165	宝石飾香水入		1個	宮内庁三の丸尚蔵館

第5章 高松宮宣仁親王—皇族に生まれて—

166-1	鳴弦弓・矢 若梅鳴弦御用之御弓	宣仁親王 浴湯の儀用	2張	明治神宮
166-2	鳴弦弓・矢 若梅鳴弦御用之御矢	宣仁親王 浴湯の儀用	2筋	明治神宮
167	読書用巻物 日本書紀	宣仁親王 浴湯の儀用	1巻	明治神宮
171	白絹 蓬菜に菊紋付産衣	宣仁親王着用	1領	国立歴史民俗博物館
175	ワンピース・帽子	宣仁親王着用	1着	国立歴史民俗博物館
177	帽子	宣仁親王着用	1個	国立歴史民俗博物館
180	ツメ袴上着・半ズボン	宣仁親王着用	1着	国立歴史民俗博物館
182	御爪箱	宣仁親王所用	1具	学習院大学史料館
183	理髪道具	宣仁親王所用	1具	学習院大学史料館
184	高松宮家紋章蒔絵四方盆		1枚	公益財団法人 高松宮記念研究基金
185	メダル	宣仁親王所用		学習院大学史料館
186	玩具	宣仁親王所用	1式	学習院大学史料館
187	オルゴール	宣仁親王所用	1台	学習院大学史料館
190	バイオリン 四分の三	宣仁親王所用	1挺	学習院大学史料館
191	化粧まわし	宣仁親王所用	1枚	学習院大学史料館
192	撃剣道具	宣仁親王所用	1式	学習院大学史料館

第6章 学習院—皇族・華族の学び舎—

193	学習院制服	宣仁親王着用	1組	国立歴史民俗博物館
194	学習院帽子	宣仁親王着用	1頭	国立歴史民俗博物館
195	東宮御学問所制服	昭和天皇着用	1着	学習院大学史料館
196	ランドセル・筆箱・鉛筆	宣仁親王所用	1式	学習院大学史料館
197	鉛筆差	宣仁親王所用	1合	学習院大学史料館
198	色鉛筆	宣仁親王所用	1式	学習院大学史料館
201	学習院メダル	宣仁親王所用	10個	学習院大学史料館
204	扇子 撫子図	宣仁親王筆	1本	学習院大学史料館
205	書初め	宣仁親王筆		学習院大学史料館
206	昆虫模型	宣仁親王所用		学習院大学史料館
207	学習院学生名簿		1冊	学習院大学史料館
208	教科書類	喜久子妃所用	3冊	学習院大学史料館
209	喜久子妃卒業証書		1巻	学習院大学史料館

第7章 成年皇族として

211-3	大正天皇御沙汰書 威仁親王・宣仁親王宛	祭祀継承の御沙汰書	1枚	学習院大学史料館
213	和歌懐紙	宣仁親王筆	1幅	宮内庁三の丸尚蔵館
214	四大字 偉勲不續	宣仁親王筆	1幅	宮内庁三の丸尚蔵館
215	大勲位菊花大綬章	宣仁親王所用	1組	宮内庁三の丸尚蔵館
221	平緒	宣仁親王着用	1条	国立歴史民俗博物館
223	箱形梅花散文ボンニエール	高松宮成年式	1合	学習院大学史料館
224	丸形梅花散文ボンニエール	高松宮成年式	1合	学習院大学史料館
225-1	【束帯(冬の料)】 袍	宣仁親王着用	1領	国立歴史民俗博物館
225-2	【束帯(冬の料)】 下襲	宣仁親王着用	1領	国立歴史民俗博物館
225-3	【束帯(冬の料)】 裃	宣仁親王着用	1領	国立歴史民俗博物館
225-4	【束帯(冬の料)】 表袴	宣仁親王着用	1腰	国立歴史民俗博物館
225-5	【束帯(冬の料)】 大口	宣仁親王着用	1腰	国立歴史民俗博物館
226	冠	宣仁親王着用	1頭	国立歴史民俗博物館
227	靴	宣仁親王着用	1双	国立歴史民俗博物館
229	沃懸地菊唐草文蒔細大刀拵	宣仁親王所用	1腰	東京国立博物館
230	挿華	昭和天皇御用	1本	学習院大学史料館
231	昭和天皇勅書	結婚聴許の勅書	1通	宮内庁書陵部
232-1	【五衣 唐衣 裳 装束】 唐衣	喜久子妃婚儀用	1領	国立歴史民俗博物館
232-2	【五衣 唐衣 裳 装束】 裳	喜久子妃婚儀用	1腰	国立歴史民俗博物館
232-3	【五衣 唐衣 裳 装束】 表着	喜久子妃婚儀用	1領	国立歴史民俗博物館
232-4	【五衣 唐衣 裳 装束】 五衣	喜久子妃婚儀用	1領	国立歴史民俗博物館
232-5	【五衣 唐衣 裳 装束】 単	喜久子妃婚儀用	1領	国立歴史民俗博物館
232-6	【五衣 唐衣 裳 装束】 濃長袴	喜久子妃婚儀用	1腰	国立歴史民俗博物館
232-7	【五衣 唐衣 裳 装束】 髪上具 平額	喜久子妃婚儀用	1枚	国立歴史民俗博物館

232-8	【五衣 唐衣 裳 装束】 髪上具 釵子	喜久子妃婚儀用	3本	国立歴史民俗博物館
232-9	【五衣 唐衣 裳 装束】 髪上具 櫛	喜久子妃婚儀用	1枚	国立歴史民俗博物館
232-10	【五衣 唐衣 裳 装束】 檜扇	喜久子妃婚儀用	1握	国立歴史民俗博物館
232-11	【五衣 唐衣 裳 装束】 三山履	喜久子妃婚儀用	1組	国立歴史民俗博物館
233	勲一等宝冠章	喜久子妃所用	1双	宮内庁三の丸尚蔵館
235	振袖	喜久子妃婚儀用	1領	宮内庁三の丸尚蔵館
237	葵紋付手拭掛	喜久子妃所用	1基	大阪青山歴史文学博物館
238	葵紋付湯桶・盥	喜久子妃所用	1具	大阪青山歴史文学博物館
239	葵紋付鬘台	喜久子妃所用	1基	大阪青山歴史文学博物館
240	葵紋付柄鏡・鏡建	喜久子妃所用	1揃	大阪青山歴史文学博物館
242	州浜形松波文ボンニエール	宣仁親王 喜久子妃 結婚	1合	学習院大学史料館寄託
243-1	昭和天皇御沙汰書 英国へ差遣の御沙汰書		1通	宮内庁書陵部
244	鳩に地球儀形ボンニエール	宣仁親王 喜久子妃 外遊記念	1合	学習院大学史料館寄託
245	トランク形ボンニエール	宣仁親王 喜久子妃 外遊帰朝	1合	大阪青山歴史文学博物館
246	宣仁親王 喜久子妃 渡欧時写真帖		6冊	公益財団法人 高松宮記念研究基金
247	ヴィクトリア大綬章	宣仁親王所用	1組	宮内庁三の丸尚蔵館
248	レジオンドヌール大綬章	宣仁親王所用	1組	宮内庁三の丸尚蔵館
249	ピースドレス	喜久子妃着用	1着	学習院大学史料館
250	旅行用紋付象牙化粧セット	宣仁親王所用	1揃	宮内庁三の丸尚蔵館
251	旅行用紋付藍化粧化粧セット	喜久子妃所用	1揃	宮内庁三の丸尚蔵館
252-1	賢所御長服	喜久子妃着用	1着	明治神宮
252-2	賢所御長服用帽子	喜久子妃着用	1頭	明治神宮

第8章 皇族のくらし—戦後から現代

253	和歌懐紙案 母	宣仁親王筆	1面	公益財団法人 高松宮記念研究基金
254	和歌懐紙案 母	喜久子妃筆	1面	公益財団法人 高松宮記念研究基金
255	和歌懐紙案 道	喜久子妃筆	1面	上野の森美術館
256	光明皇后	喜久子妃筆	1軸	公益財団法人 高松宮記念研究基金
258	富士の図	喜久子妃筆	1幅	宮内庁三の丸尚蔵館
259	志野風茶碗 銘 梅花	宣仁親王作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
260	銚子茶碗 銘 山里	宣仁親王作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
261	瑠璃釉茶碗 銘 老松	宣仁親王作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
262	練上げ手茶碗 銘 天河	宣仁親王作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
263	伊羅保茶碗 銘 夏之夜	宣仁親王作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
264	鉄絵流灰釉織部掛け方向付	喜久子妃作 三峰窯	1客	宮内庁三の丸尚蔵館
265	桜花形灰皿	喜久子妃作 三峰窯	1個	宮内庁三の丸尚蔵館
266	白磁紅葉文花瓶	喜久子妃作 三峰窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
267	鉄絵流灰釉雀香合	喜久子妃作 三峰窯	1合	宮内庁三の丸尚蔵館
268	組皿 銘 橋姫	喜久子妃作 三峰窯	5枚	宮内庁三の丸尚蔵館
269	湯呑	喜久子妃作 水月(荒川豊藏)窯	1口	宮内庁三の丸尚蔵館
270	栗置物	喜久子妃作 水月(荒川豊藏)窯	1個	宮内庁三の丸尚蔵館
274	メダル・バッジ	宣仁親王収集		学習院大学史料館
275	丸形若竹文ボンニエール	昭和天皇古希	1合	個人
276-1	【五衣 唐衣 裳 装束】 唐衣	喜久子妃着用	1領	霞会館
276-2	【五衣 唐衣 裳 装束】 裳	喜久子妃着用	1腰	霞会館
276-3	【五衣 唐衣 裳 装束】 表着	喜久子妃着用	1領	霞会館
276-4	【五衣 唐衣 裳 装束】 打衣	喜久子妃着用	1領	霞会館
276-5	【五衣 唐衣 裳 装束】 五衣	喜久子妃着用	1領	霞会館
276-6	【五衣 唐衣 裳 装束】 単	喜久子妃着用	1領	霞会館
276-7	【五衣 唐衣 裳 装束】 長袴	喜久子妃着用	1腰	霞会館
276-8	【五衣 唐衣 裳 装束】 髪上具	喜久子妃着用	1具	霞会館
276-9	【五衣 唐衣 裳 装束】 檜扇	喜久子妃着用	1握	霞会館
276-10	【五衣 唐衣 裳 装束】 帖紙	喜久子妃着用	1包	霞会館
276-11	【五衣 唐衣 裳 装束】 三山履	喜久子妃着用	1足	霞会館
277	高松宮記念(競馬)優勝杯原型		1個	霞会館
278	ゴルフクラブバッグ	喜久子妃所用	1個	明治神宮
279	ゴルフクラブセット	喜久子妃所用	1セット	明治神宮

展示風景



講演会



ギャラリートーク



秋季特別展

染の華 織の心—加賀・能登の技とデザイン—

石川の豊かな染織文化について、加賀友禅の歴史を伝える資料や、加賀お国染「花岡コレクション」の優品、能登上布や牛首紬などの伝統織物など、県内にのこる近世以降の染織品を中心に、優れた技術を育み、多彩な意匠を発展させた歴史的背景をさぐった。また、庶民の労働着や草木の繊維を利用して作られた布を通し、暮らしと衣類のあり方について、祭礼など晴の日に用いられる衣裳から、祝いの場とよそおいについて考えた。



会 期 平成23年9月23日(金・祝)～11月3日(木・祝)
[42日間] ※会期中無休

入館料 一般 650(520)円 大学生 500(400)円
高校生以下無料 65歳以上 520円
※()内は20名以上の団体料金

会 場 第1・2特別展示室

展示構成

第1特別展示室

*加賀お国染と友禅染

お国染と紺屋／加賀紋／染幅／夜着

[加賀お国染・花岡コレクションより] 夜着・暖簾・風呂敷・袱紗・子どもの着物

*くらしの中の織物

伝統織物(能登上布・牛首紬など)／労働着とくらし／草木布

*晴の日を彩る

祝いのデザイン／東大野村歌舞伎衣裳

第2特別展示室

[特集展示] 人間国宝・木村雨山の面影

展 示 品 (展示資料数 154 件)

出品資料一覧のとおり

催 物

講座①

日 時：9月25日(日) 13:30～15:00
演 題：よくわかる展覧会ガイド「加賀お国染」講座
講 師：花岡博司氏(加賀友禅の店 ぬり華店主)
会 場：当館学習ホール
聴講人数：20人

能登上布 機織り実演

日 時：10月1日(土)
10:00～12:00／13:00～16:00
会 場：当館第4展示室
実 演：能登上布会館スタッフ

講座②

日 時：10月23日(日) 13:30～15:00
演 題：きもの文化トーク「きものを楽しむ・きものと暮らす」
講 師：花岡博司氏(加賀友禅の店 ぬり華店主)
会 場：当館学習ホール
聴講人数：30人

ギャラリートーク

日 時：10月8日(土) 14:00～15:00
10月29日(土) 14:00～15:00
場 所：当館第1特別展示室
参加人数：10/8(15人) 10/29(16人)

出品資料一覧

○=重要有形民俗文化財 △=町指定文化財

番号	名称	点数	時代	所蔵者
I. 加賀お国染と友禅染				
1	肩衣	1	江戸時代	本館
2	羽織	1	江戸時代末期	本館
3	前田利家書状(孫十郎へ紺屋役申付状)	1	慶長 3(1598)年 4月 21日	本館
4	前田利長書状(孫二郎へ紺屋頭役申付状)	1	慶長 5(1600)年 5月 27日	本館
5	前田利長書状(町割りにおける紺屋屋敷に付申付状)	1	慶長 14(1609)年 5月 8日	本館
6	雛形春日山(上・中・下)	3	明和 5(1768)年	本館
7	加越能名物産物番付	1	文久元(1861)年	本館
8	鶴亀に宝尽し文様一つ身	1	江戸時代	藩老本多蔵品館
9	鶴亀に宝尽し文様一つ身	1	江戸時代	藩老本多蔵品館
10	子供袴	一式	江戸時代	藩老本多蔵品館
11	宝尽し文様一つ身	1	江戸時代末期	花岡コレクション
12	群鶴松竹図染幅	1	江戸時代(18世紀)	石川県立美術館
13	梅双鶴図染幅	1	江戸時代(18世紀)	個人
14	菊図筆櫛の葉短冊図染幅	1	江戸時代(19世紀)	個人
15	恵比寿大黒図染幅	1	江戸時代(18~19世紀)	金沢卯辰山工芸工房
16	桜閣人物図染幅	1	江戸時代(18~19世紀)	金沢卯辰山工芸工房
17	松竹梅丸文様夜着	1	江戸時代(19世紀)	石川県立美術館
18	梅竹文様夜着	1	江戸時代(19世紀)	石川県立美術館
19	松竹梅文様夜着	1	江戸時代(19世紀)	花岡コレクション
20	猿に南天文様夜着	1	江戸時代(19世紀)	花岡コレクション
21	鶴に竹薔薇文様夜着	1	江戸時代末期~明治時代初期	本館
22	竹梅文様夜着	1	江戸時代末期~明治時代初期	本館
23	松竹梅に鶴文様暖簾	1	江戸時代末期	花岡コレクション
24	柳と蛇籠に燕撫子文様暖簾	1	明治時代後期~大正時代初期	花岡コレクション
25	御簾に菓玉檜扇文様暖簾	1	昭和時代初期	花岡コレクション
26	鯉の滝のぼり文様暖簾	1	明治時代初期	花岡コレクション
27	松笹に鷹文様暖簾	1	明治時代初期	花岡コレクション
28	宝袋に宝尽し文様暖簾	1	明治時代中期	花岡コレクション
29	宝尽し文様風呂敷	1	江戸時代後期	花岡コレクション
30	扇子に鶴亀松竹梅文様風呂敷	1	明治時代初期	花岡コレクション
31	束熨斗に蕨柑子文様風呂敷	1	明治時代前期	花岡コレクション
32	しめ縄に海老橋文様風呂敷	1	明治時代前期	花岡コレクション
33	揚羽蝶に唐草文様風呂敷	1	明治時代前期	花岡コレクション
34	松竹梅花格子に揚羽蝶文様風呂敷	1	明治時代中期	花岡コレクション
35	束熨斗文様風呂敷	1	明治時代中期	花岡コレクション
36	高砂文様一つ身	1	江戸時代末期~明治時代	花岡コレクション
37	海老に根引きの松文様一つ身	1	明治時代	花岡コレクション
38	能楽翁文様三つ身	1	江戸時代末期~明治時代	花岡コレクション
39	菊尽し文様四つ身	1	明治時代	花岡コレクション
40	水辺萩に金魚文様四つ身	1	大正時代	花岡コレクション
41	霞に梅文様四つ身	1	昭和時代初期	花岡コレクション
II. 晴の日を彩る①-祝いのデザイン-				
42	鳳凰麒麟文様羽織	1	江戸時代後期	花岡コレクション
43	鳳凰虎文様羽織	1	江戸時代後期	花岡コレクション
44	雲に稲妻文様袴纏	1	江戸時代末期~明治時代初期	花岡コレクション
45	陣羽織形胴着	1	江戸時代末期	本館
46	松竹梅に鶴亀文様打掛	1	明治時代末期	本館
47	富士に鶴松原文様打掛	1	明治時代後期	本館
48	鳳凰文様夜着	1	江戸時代末期~明治時代前期	花岡コレクション
49	梅枝輪に違い釘抜紋と松竹梅文様夜着	1	明治時代	花岡コレクション
50	梅に鴛鴦・薔薇・水仙文様暖簾	1	大正時代初期	花岡コレクション
51	御簾に梅・琴・琵琶文様暖簾	1	明治時代中期	花岡コレクション
52	桐に鳳凰文様暖簾	1	昭和時代初期	花岡コレクション
53	菊に蝶文様袷紗	1	明治時代	花岡コレクション
54	枝梅に蝶熨斗文様袷紗	1	明治時代	花岡コレクション
55	花車文様袷紗	1	明治時代	花岡コレクション
56	御簾に菓玉と菊牡丹文様袷紗	1	明治時代	花岡コレクション
57	菊に松竹梅の地紙文様袷紗	1	大正時代	花岡コレクション
58	三枚重ね地紙に松竹梅文様袷紗	1	大正時代	花岡コレクション
59	嶋台に高砂文様袷紗	1	大正時代	花岡コレクション
60	若松に鶴文様袷紗	1	大正時代	花岡コレクション
61	嫁風呂敷	1	昭和 10 年代	本館
62	高砂文様袷紗	1	昭和 10 年代	本館
63	重箱用座布団	1	昭和 10 年代	本館
64	重箱(台付)	1	昭和 10 年代	本館
65	桐に鳳凰文様四つ身	1	昭和時代初期	本館
66	梅に鴛鴦文様四つ身・晴帽子	一組	大正~昭和時代初期	本館
67	鶴に松海辺文様四つ身・晴帽子	一組	大正~昭和時代初期	本館
68	縞緋一つ身	1	大正~昭和時代初期	本館
69	青海波柱若文様一つ身	1	大正~昭和時代初期	本館
70	縞文様ちゃんちゃんこ	1	大正~昭和時代初期	本館
71	押絵背守	34	大正~昭和時代初期	本館
III. 暮らしの中の織物				
72	袴	一式	江戸時代	本館
73	羽織	1	江戸時代末期	本館
74	菊に網干燕文様打掛	1	江戸時代後期	本館
75	田家文様単衣	1	江戸時代後期	本館
76	能登上布長着	1	明治時代末期~大正時代	本館
77	能登上布長着	1	明治時代	本館

番号	名称	点数	時代	所蔵者
78	能登上布長着	1	昭和 40～50 年代	能登上布会館
79	板締め用型板	2	昭和 40～50 年代	能登上布会館
80	能登上布織機	一式	現代	能登上布会館
81	能登上布反物	1	現代	能登上布会館
82	△入江の北前船文様暖簾	1	大正時代初期	個人
83	△飛鶴宝船文様暖簾	1	大正時代初期	個人
84	牛首袖打掛	1	江戸時代後期	西山産業開発株式会社
85	牛首袖長着	1	現代	西山産業開発株式会社
86	牛首袖長着	1	明治時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
87	牛首袖長着	1	昭和時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
88	牛首袖裂地 (白ツムギ)	1	昭和時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
89	繭・玉繭	一括	現代	石川県立白山ろく民俗資料館
90	おれろ裂地	2	明治～昭和時代初期	小松市立博物館
91	今江縞長着	1	昭和 5(1930)年	小松市立博物館
92	今江縞袴纏	1	不詳	小松市立博物館
93	今江縞裂地	12	明治時代後期～昭和時代初期	小松市立博物館
94	今江縞反物	1	明治時代後期～昭和時代初期	金戸隆幸氏
95	今江縞見本帳	一括	明治時代後期～昭和時代初期	金戸隆幸氏
96	松任染型紙	1	明治～大正時代	白山市立松任博物館
97	松任染型紙	11	昭和時代初期まで使用	白山市立松任博物館
98	松任染型紙	20	昭和時代初期まで使用	個人
99	サシコ (奥能登)	1	不詳	大田久志氏
100	サギョウギ (ジンバエ・チンコバノ七尾市)	1	大正～昭和時代初期	本館
101	○デタチベ (ミジカベノ白山市白峰)	1	昭和時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
102	○デタチベ (スズシコンナシノ白山市白峰)	1	明治時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
103	○スツモヨウ (白山市白峰)	1	明治時代中期	石川県立白山ろく民俗資料館
104	ノノ糸	1	不詳	石川県立白山ろく民俗資料館
105	オーヒキガネとオーヒキ板	一式	大正時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
106	オクソサックリ (小松市)	1	不詳	小松市立博物館
107	オクソサックリ・ドンコ (小松市)	一組	不詳	小松市立博物館
108	サックリ (珠洲市若山町)	1	不詳	本館
109	アサギ (珠洲市宝立町)	1	大正～昭和時代初期	本館
110	サックリ布地 (珠洲市若山町)	1	不詳	本館
111	モッコジャックリ (白山市白峰)	1	昭和時代初期	本館
112	サックリ (珠洲市若山町)	1	不詳	本館
113	ツーリ (能登島長崎町)	1	明治～大正時代	本館
114	ツーリ (能登島長崎町)	1	明治～大正時代	本館
115	○マエカケ (白山市白峰)	1	昭和時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
116	○ジャックリバト (白山市白峰)	1	大正時代末期	石川県立白山ろく民俗資料館
117	○ジャックリバト (白山市白峰)	1	大正時代末期	石川県立白山ろく民俗資料館
118	アツシ (加賀地方南部)	1	江戸時代末期～明治時代	本館
119	サシコ (加賀地方南部)	1	江戸時代末期～明治時代	本館
120	サシコ (加賀地方南部)	1	江戸時代末期～明治時代	本館
121	アットウシ (アイヌアツシ)	1	明治時代初期	本館
122	オクソサックリ・イラザックリ裂地	1	大正時代末期	中橋透一氏
123	○タツツケ (オーロ織)	1	明治時代初期	石川県立白山ろく民俗資料館
124	オーロ糸	1	不詳	石川県立白山ろく民俗資料館
125	ぜんまい織長着	1	明治時代	大田久志氏
126	藤布反物	1	明治～大正時代	大田久志氏
127	△帷子 (鬼の狩衣)	1	明治時代	十郎原日桂神社
128	猿田彦面	1	嘉永 5(1852)年	十郎原日桂神社
129	猿田彦衣裳	一式	現代	十郎原日桂神社

IV. 晴の日を彩る②- 東大野村歌舞伎衣裳 -

130	恵比寿・布袋・大黒三福神凶幕	1	文政 6(1823)年	輪島市町野町東大野地区
131	松竹梅橋に飛鶴文様小袖	1	江戸時代中期	輪島市町野町東大野地区
132	雲形紋に菊文様振袖	1	江戸時代中期	輪島市町野町東大野地区
133	松竹梅文様振袖	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
134	几帳に葵散し文様小袖	1	江戸時代後期～明治時代初期	輪島市町野町東大野地区
135	山形に渦花菱文様着付	1	江戸時代後期～明治時代初期	輪島市町野町東大野地区
136	白抜紋付着付 (石持)	1	江戸時代後期～明治時代初期	輪島市町野町東大野地区
137	縞に蝶文様羽織	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
138	雲龍に鳳凰丸文様羽織	1	江戸時代後期～明治時代初期	輪島市町野町東大野地区
139	菊花文様に龍丸文様鉄砲袖上着	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区
140	三角裂文様素襖上着	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
141	三角裂文様素襖袴	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
142	繫輪違い文様肩衣	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
143	繫輪違い文様袴	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
144	牡丹唐草鳳凰文様肩衣	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区
145	牡丹唐草鳳凰文様袴	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区
146	毘沙門亀甲文様袴	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
147	毘沙門亀甲文様脚絆	1	江戸時代後期	輪島市町野町東大野地区
148	唐花に花入亀甲松皮菱文様袴	1	江戸時代後期～明治時代初期	輪島市町野町東大野地区
149	流水に紅葉文様胸当	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区
150	流水に花文様胸当	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区
151	雲に唐獅子文様胸当	1	明治時代	輪島市町野町東大野地区

特集展示「人間国宝 木村雨山の面影」

152	染色馬二曲屏風 (木村雨山作)	1	昭和 13(1938)年	石川県立美術館
153	赤地吉祥文様振袖 (木村雨山作)	1	昭和 27(1952)年	石川県立美術館
154	下絵・スケッチ・製作用具	一括		本館

展示風景



講座



ギャラリートーク



能登上布機織り実演



日韓姉妹館交流 20 周年記念特別展 平和と繁栄—江戸時代の石川の社会と文化

2011 年（平成 23 年）は、当館と国立全州博物館の姉妹館交流 20 周年にあたる。そこで、石川の認知度向上と交流のさらなる発展を進めるため、館所蔵の優品・名品をもとに、加賀藩の政治・社会・経済・外交・文化を多角的かつ平易に紹介した。



展覧会名

韓国語版：「평화와 번영, 에도시대 (1603~1867) 이시카와의 문화」
「平和と繁栄：江戸時代(1603~1867) 石川の社会と文化」
英語版：Peace and Prosperity, Ishikawa in Edo Era

主催 国立全州博物館、石川県立歴史博物館、全州放送

会期 平成 23 年 10 月 18 日(火)～11 月 27 日(日)
[41 日間] ※会期中無休

開幕式 平成 23 年 10 月 17 日(月)

会場 国立全州博物館文化体験館 市民ギャラリー・石田記念室・
タッチミュージアム

入場者数 42,900 人

展示構成 (1) 社会と政治 (2) 文化と交流 (3) 江戸時代の美意識 (4) 祭りと行楽

主な展示品 (総展示数 95 件 274 点) 別紙リストのとおり

催物

教育関連事業

- I. 生活文化体験（会場：タッチミュージアム）
①江戸時代の衣装体験 ②加賀藩の正月飾り
③加賀藩のおもちゃ ④加賀藩の手工芸

- II. Kids・学校団体ワークショップ（会場：展示室）
からくり人形で学ぶ江戸の技術
金沢城下図屏風を調べよう
大名行列図屏風の隠された秘密

- III. 家族ワークショップ
（会場：ワークショップルーム）
内容：石川伝統金箔工芸体験
日時：10 月 29 日(土) 14:00～16:00

- IV. ワークシートを用いた展示説明（会場：展示室）

講演会

演題：「近世加賀藩と朝鮮の文化交流」
講師：韓国全北大学校 河宇鳳教授
日時：10 月 22 日(土) 14:00～16:00

出品資料一覧

□=県指定文化財 △=金沢市指定有形民俗文化財

番号	名称	点数	時代	所蔵者
I 社会と政治				
1	前田利家画像（複製）	1	1599年（慶長4）	蓮江寺
2	芳春院画像（複製）	1	原本は江戸初期（17C）	大本山総持寺
3	加州・能州・越中絵図	1	江戸時代（18～19C）	本館
4	加賀藩出世双六	1	江戸時代（18～19C）	本館
5	大月伝蔵錦絵	1	江戸後期（19C）	本館
6	□紫紺糸威二枚胴具足	1	江戸時代（17C）	本館
7	長家伝来糸巻太刀拵	1	江戸時代（19C）	本館
8	□金采配	1	江戸時代（17C）	本館
9	□軍扇	1	江戸時代（17C）	本館
10	前田公参観歸国図	1	1915年（大正4）	本館
11	金沢～江戸道中絵図	1	江戸時代（18～19C）	本館
12	柳宮儀式図絵	1	1846年（弘化3）	本館
13	加賀藩本郷邸泥絵	1	江戸時代（19C）	本館
14	金沢城中総絵図	1	江戸時代（18C前半）	本館
15	金沢城二ノ丸絵図	1	江戸時代（19C）	本館
16	金沢城鉛瓦	3	江戸時代	本館
17	□金沢城下図屏風	2	江戸時代	本館
18	鮎釣り毛バリ	20	2011年（平成23）	本館
19	犀川川上芝居小屋景観図	1	江戸時代（19C）	金沢市立玉川図書館
20	大当役名尽	2	1813年（文化10）	本館
21	常山猪王山	1	1852年（嘉永5）	本館
22	□加州金平鉾山図巻	1	1788年（天明8）	本館
23	民家検労図	3	江戸時代（19C）	本館
24	□能登国採魚図絵	1	1838年（天保9）	本館
25	難船絵馬（複製）	1	1868年（慶応4）	本館
26	北前船模型（琴平丸）	1	昭和期（20C）	本館
27	毛理嶋山官軍大勝利之図	1	1868年（慶応4）	本館
28	陣羽織	1	1868年（慶応4）	本館
29	兵士のランシャ帽子	1	1868年（慶応4）	本館
30	北越戦争小川隊旗	1	1868年（慶応4）	本館
31	加賀藩士肖像画	1	1883年（明治16）	本館
II 文化と交流				
32	前田綱紀画像	1	江戸中期（17C後半）	本館
33	前田綱紀書状（慈照院宛）	1	1684（貞享元）～1707年（宝永4）	本館
34	前田綱紀書状（以酊庵宛）	1	1700～1702年（元禄13～15）	本館
35	□庶物類纂	3	正徳5年（1715）～延享2年（1745）	金沢市立玉川図書館
36	正徳和韓唱酬録	1	1711年（正徳元）	金沢市立玉川図書館
37	李東郭「観文堂」書額	1	1711年（正徳元）	金沢市立玉川図書館
38	エレキテル	1	江戸時代（19C）	本館
39	無尽灯	1	江戸時代（19C）	本館
40	盃台	1	江戸時代（19C）	本館
41	飛び蛙	1	江戸時代（19C）	本館
42	一東視窮録（複製）	1	江戸時代（19C）	本館
43	量程器	1	江戸時代（19C）	本館
44	里数計	1	江戸時代（19C）	本館
45	測量器	1	江戸時代（19C）	本館
46	からくり段がえり人形	1	江戸時代（19C）	本館
47	松田東英考案 窺天鏡（箱型望遠鏡）	1	1843年（天保14）	本館
III 江戸時代の美意識				
48	黒漆桐梅鉢文蒔絵小箆筒	1	江戸時代（17～18C）	本館
49	黒漆剣梅鉢雪輪文蒔絵紙台	1	江戸時代（19C）	本館
50	鍍銅雲龍薄端	2	江戸時代（18C）	本館
51	御典医御鍼箱	3	江戸時代（17C）	本館
52	菊水文象嵌燭台	2	江戸時代（18C）	本館

番号	名称	点数	時代	所蔵者
53	色絵花鳥図軸盆	1	江戸時代(19C)	本館
54	秋草図蒔絵印籠	1	江戸時代(19C)	本館
55	黒漆素彫高土吹笙図印籠	1	1812年(文化9)	本館
56	葡萄図沈金鞍	1	江戸時代(18~19C)	本館
57	桜花に流水図象嵌鏡	2	江戸時代(18~19C)	本館
58	紫絹地紋付苔屋江戸解文様染繡小袖	1	江戸時代(19C)	本館
59	友禅染 黄安仙人・松に鳥・梅に鳥図	3	江戸時代(19C)	本館
60	歌神鷹図	3	寛文12年(1672)	本館
61	福祿寿に紅白梅図	3	寛政3年(1791)頃	本館
62	猛虎図	1	江戸時代(19C)	本館
63	雪梅図	1	1854年(安政元)	本館
64	松に双鶴図	1	江戸時代(18~19C)	本館
65	俳諧炭俵図屏風	2	1875年(明治8)	本館
66	宝生友于勸進能興行絵巻	2	江戸~明治時代(19C)	本館
67	兼六園・巽御殿絵巻	2	1863年(文久3)	本館
68	竹沢御殿絵図	1	江戸時代(19C)	本館
IV 祭りと行楽				
69	白山曼陀羅幅	1	1559年(永禄2)年成立、1844年(天保15)修復	本館
70	加賀白やま図	1	江戸時代(19C)	本館
71	北國白山天領御絵図	1	19世紀	本館
72	新板手擲清水参并白山詣双六	1	江戸時代(19C)	本館
73	△獅子頭・木刀	2	江戸時代(19C)	寺町大桜会・寺町5丁目町会
74	猿田彦面	1	江戸時代(19C)	寺町大桜会・寺町5丁目町会
75	般若面	1	江戸時代(19C)	寺町大桜会・寺町5丁目町会
76	笑尉面	1	江戸時代(19C)	寺町大桜会・寺町6丁目町会
77	菅原伝授手習鑑図大行燈絵	1	1956年(昭和31年)頃	近江町市場商店街振興組合
78	鶴の羽根飾り	1	複製品	本館
79	渡唐天神図	1	江戸時代(19C)	本館
80	天神堂	1	20世紀半ば	本館
81	具足餅飾り(複製)	1		本館
82	版摺宝船図	1	江戸時代(19C)	本館
83	俳諧一枚刷り物	3	江戸時代(19C)	本館
V タッチ・ミュージアム				
71	加賀藩大名行列図屏風(複製)	1	1940年頃(20C)	本館
72	からくり茶運び人形(複製)	1		本館
73	からくり段返り人形(複製)	1		本館
74	侍衣装(複製)	1		本館
75	姫衣装(複製)	1		本館
76	仕事着	1		本館
77	仕事着	1		本館
78	天神堂(複製)	2		本館
79	米喰い鼠	29		本館
80	餅搗き兔	30		本館
81	和傘	3		本館
82	仮面	9		本館
83	起きあがり小法師	1		本館
84	張子虎	1		本館
85	張子犬	1		本館
86	福德	1袋		本館
87	福德種	24		本館
88	加賀水引(大)	2		本館
89	加賀水引(小)	3		本館
90	桐箱	3		本館
91	手鞠(大)	3		本館
92	手鞠(小)	3		本館
93	花針山	4		本館
94	香り手鞠	1		本館
95	釣り針	20		本館

開幕式



展示風景



体験プログラム



(10) 企画展

愛鳥週間関連企画展 本州最後のトキ『能里』に会おう！

昭和45年に穴水町で捕獲された本州最後のトキ「能里」の剥製および、トキの保護に半生をささげた村本義雄さんの保護活動資料を紹介し、トキの再生にいたる歩みを見つめた。

会 期：平成23年5月10日(火)～5月16日(月)
[7日間] ※会期中無休

会 場：第2特別展示室

展 示 数：トキ剥製1体(愛称「能里」)
村本義雄コレクション約80点



新春を祝うー辰年のお正月ー

十二支のひとつである「辰」には、後に、神話上の動物である龍（竜）が割り当てられ、「隆盛」の図像として喜ばれました。こうしたことから龍は、中国では皇帝のシンボルとして扱われ、十二支の中では唯一伝説上の生物（神獣・霊獣）となっています。

今回の新春展では、こうした龍（竜）を象ったさまざまな絵画や工芸品、さらに、十二支を描いた屏風絵など、新春にふさわしい吉祥の書画や飾り物を紹介しました。



両館ギャラリートーク

会 期：平成 23 年 1 月 4 日(水)～2 月 5 日(日)

[33 日間] ※会期中無休

会 場：第 1 特別展示室

展示構成：1. 「十二支と龍の図像」
2. 「新春を寿ぐ書画と工芸」
3. 「正月の室内遊び」

展 示 数：約 80 点

主な展示品：十二支図屏風、昇龍図掛幅、銅造雲龍薄端、福祿寿に紅白梅図掛幅(岸駒筆)、正月引札、天神堂、双六、福笑 他

**関連イベント：藩老本多蔵品館との共催イベント
＜両館ギャラリートーク＞**

日 時：24 年 1 月 15 日(日)

午後 1 時～2 時 30 分

講 師：藩老本多蔵品館 館長 本多政光

石川県立歴史博物館 学芸主幹 北春千代

会 場：藩老本多蔵品館展示室

石川県立歴史博物館第 1 特別展示室

参加人数：32 人

れきはくコレクション2011

平成 23 年度に一般の方から寄付された資料や、博物館で新たに購入した資料を公開する、年度末恒例の新収蔵品展。

今回は、前田利家と夫人・まつの手紙、明治時代に輸出向けにつくられた九谷焼珈琲具、蔵宿縄屋文書、浮世絵師島野春彰の下絵資料を中心に、約 37 件展示した。学芸員が資料の魅力を一般の方にわかりやすく伝える場として、会期中ギャラリートークを 4 回開催した。



会 期：平成 24 年 2 月 18 日(土)～3 月 20 日(火・祝)

[32 日間] ※会期中無休

会 場：第 1 特別展示室

展 示 数：平成 23 年度寄贈・購入・借用資料約 37 件
列品解説 (全 4 回)

2 月 26 日(日)「戦争の時代から高度成長期へ」

参加者 13 人

3 月 4 日(日)「新収蔵 前田家関係史料」参加者 21 人

3 月 10 日(土)「金沢最後の浮世絵師 島野春彰」

参加者 14 人

3 月 11 日(日)「金沢町人の生活」

参加者 21 人



2. 調査研究活動

(1) 紀要

石川県立歴史博物館紀要 第24号(平成24年3月31日発行)

- 【論 文】一六世紀末における本願寺門徒の動向
- － 慶長二年加賀門徒誓詞の分析を中心に － 塩崎 久代
 - ショーウィンドウの中の造り物
 - － 金沢における店頭装飾の近代史 － 大門 哲
 - 古墳時代前期における石製品の流通 三浦 俊明
- 【研究ノート】絵馬研究の歩みと考古学
- － 絵馬の起源論を中心にして － 戸潤 幹夫
 - 東日本大震災を撮る
 - － 岩手県宮古市から宮城県松島町まで － 本谷 文雄
- 【史料紹介】回想録「過去ノ郷里ヲ追想シテ」(七) 本康 宏史

(2) 歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の関係機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組む。その際、内外の知の結集をもって、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう地域住民の文化力向上を図る。

第12回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「近世・近代能登の生産と海運」

平成23年6月26日(日) 公開セミナー(於:当館学習ホール)

【公開セミナー】10:00～15:30

第一部 講演会

講演内容:「近世能登の諸生産と海運―米・塩・素麺・炭―」 金沢学院大学教授 見瀬 和雄氏
「近代能登の産業化と北前船主」 名古屋大学大学院教授 中西 聡氏
「北前船再考」 当館資料課長 濱岡 伸也

第二部 パネルディスカッション

コメント:講演会講師

進 行:金沢学院大学教授 見瀬 和雄氏

参 加 者:63名

平成23年6月25日(土) 現地見学会(能登・外浦を訪ねて)

見 学 地:輪島市門前町黒島・赤神・志賀町福浦港

参 加 者:14名

第13回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「能登畠山氏の成立と展開」

平成23年9月11日(日) 公開セミナー(於:当館学習ホール)

【公開セミナー】11:00～15:30

第一部 講演会

講演内容:「能登畠山家と室町幕府一守護体制」 愛媛大学教授 川岡 勉氏
「長谷川等伯と能登畠山文化」 元山形大学教授 宮島 新一氏

第二部 パネルディスカッション

コメント:講演会講師

進 行:加能地域史研究会副代表 木越 祐馨氏

参 加 者:77名

平成 23 年 9 月 10 日(土) 現地見学会 (畠山氏の史跡を訪ねて)

見学地：瀬嵐人麿社、石川県七尾美術館、山の寺寺院群、七尾城跡、七尾城史資料館

参加者：17名

第 14 回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「能登の祭り文化」

平成 23 年 11 月 12 日(土) 公開セミナー (於：当館学習ホール)

【公開セミナー】10:00～15:30

第一部 講演会

講演内容：「山鉾の祭と能登」

元京都学園大学教授 植木 行宣氏

「越中の獅子舞・氷見の獅子舞—獅子舞の謎を探る—」

氷見市立博物館館長 小境 卓治氏

「能登のコト・祭り—くらしの節目—」

加能民俗の会副会長 西山 郷史氏

第二部 パネルディスカッション

コメント：講演会講師

進行：当館学芸専門員 大門 哲

参加者：64名



第 12 回セミナー 講演会



第 13 回セミナー パネルディスカッション

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成 3 年 1 月 15 日に締結した姉妹間協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善並びに、環日本海文化の共同研究を目的として事業を実施した。

交流員派遣の際には、姉妹館交流 20 周年記念として、平成 23 年度 10 月 18 日から 11 月 27 日まで全州で開催された「江戸時代—石川の社会と文化—」展の予備調査、ならびに具体的な打ち合わせや展示施設の下見が行われた。

【学芸員の交流】

韓国国立全州博物館学芸研究官 徐聖鎬氏、同学芸研究官 權惠銀氏が来県

受入期間：平成 23 年 5 月 23 日(月)～5 月 29 日(日)

石川県立歴史博物館学芸主幹 戸潤幹夫を全州博物館に派遣

派遣期間：平成 23 年 6 月 20 日(月)～6 月 26 日(日)



交流展の打ち合わせ

3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覧

寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	盃(戦争関係)	6	昭和前期・20世紀
2	美術品	刺繍神功皇后三韓征伐図袱紗	1	江戸時代～明治 19世紀
3	歴史資料	袋鐘	1	江戸時代
4	歴史資料	火縄銃	1	江戸時代～
5	歴史資料	古写真	3	大正～昭和
6	歴史資料	金沢南町郵便局設計図	3	大正～昭和
7	歴史資料	軍隊手帳	1	大正10年
8	歴史資料	軍隊手帳	1	大正10年(1921)
9	歴史資料	釣竿及び付属品	1	昭和時代
10	歴史資料	犀川上流 内川 淵名覚	1	昭和時代
11	歴史資料	相撲番付	1	昭和44年
12	歴史資料	官職区別章など	1	昭和(戦前・战中)
13	歴史資料	東京オリンピック絵葉書	4	昭和39年
14	歴史資料	東京オリンピック記念写真	1	昭和39年
15	歴史資料	古写真	1	明治～大正時代
16	歴史資料	卓袱台	1	大正～昭和前期
17	歴史資料	近藤修氏収集鉄道資料	363	昭和40年代～、昭和50年代
18	歴史資料	長尾流体術など資料	5	大正時代
19	歴史資料	村松商店ポスター	1	昭和初期(昭和3年以後)
20	歴史資料	金沢藩老横山致堂四行書	1	江戸時代
21	歴史資料	白峯登山日記	1	明治19年
22	歴史資料	日露戦争関係写真	28	明治期
23	歴史資料	日露戦争関係写真	62	明治38年
24	歴史資料	日清韓三国対照明細図	1	明治27年
25	歴史資料	皇太子殿下下行啓記念	1	大正13年
26	歴史資料	最新 金沢市街地図	1	昭和7年
27	歴史資料	寛永通宝	109	18～19世紀(江戸時代後期)
28	歴史資料	島野春彰関係資料	770	江戸時代～平成期
29	歴史資料	北安江農事生産組合文書(追加分)	38	昭和28～61年(1953～86)
30	歴史資料	永井柳太郎書簡	3	
31	歴史資料	永井柳太郎自筆絵葉書	1	大正14年10月24日付
32	歴史資料	集合写真絵葉書	1	年代不明
33	歴史資料	矢立て	1	
34	歴史資料	征露戦記	1	明治38年(1905)
35	歴史資料	北吉田区養蚕実行組合事務所看板	1	昭和16年頃まで使用
36	民俗資料	茶羽二重地桃太郎文様四つ身	1	昭和10年代
37	民俗資料	掛時計	1	昭和初期

寄贈資料合計 37件 1,419点

購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	九谷焼花鳥十二月密画珈琲具	1	明治期
2	歴史資料	芳春院書状	1	江戸時代前期

購入資料合計 2件 2点

寄贈・購入資料合計 39件 1,421点

(2) 資料の保存

防虫処理作業

平成 18 年度から、通常のカス燻蒸を全面中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を 2～3 週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対しての薬剤散布や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積 4m×4m に高さ 2m の 32 m³の容量を持つテントに炭酸ガス（CO₂）を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 23 年度は延べ 2 回実施。一回当たりの作業時間は 9～15 日、使用炭酸ガス量は 45kg。

(環境調査モニタリング)

- ① 実施場所 第 1～3 棟の収蔵室と展示室、および 正面受付と各棟出入口
- ② 調査方法
 - ア. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3 週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - イ. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室 5 ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - ウ. 浮遊粒子調査 各室 1 ヶ所バイオテストにより空気を採取し、0.3、0.5、1.0、5.0 ミクロンの 4 粒子を測定する。
- ③ 調査期間 平成 23 年度は年 3 回実施（6 月 13 日、10 月 19 日、2 月 9 日）
- ④ 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 各棟進入経路への薬剤散布
 - ア. 実施場所 各棟の出入口・非常口、渡り廊下出入口
 - イ. 実施期間 平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月（計 10 回）
 - ウ. 実施方法 低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。薬剤はジメチルー0（3-メチルー4-ニトロフェニル）、ホスホロチオエイト（低臭性 シントー スミチオン乳剤）
- ② 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第 2 収蔵室
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30 シート 1 綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。
- ③ 光誘引捕虫器の設置
 - ア. 設置場所 第 1 棟 東入口、西入口 第 2 棟 東入口 第 3 棟 東入口、第 2 収蔵室 2 階
 - イ. 設置期間 平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月
 - ウ. 設置方法 前記場所 5 ヶ所に設置し、月に一度捕虫器内の粘着シートを取り替える。

(3) 館蔵資料分類表

(H24.3.31)

資料区分		収集年度	平成 22 年度末 資料総数	平成 23 年度 収集資料数	資料総数
美 術	購入 寄付		11,410	1 7	11,418
考 古	購入 寄付		4,064	0 0	4,064
歴 史	購入 保管換 寄付		69,136	1 0 641	69,778
民 俗	購入 寄付		28,249	0 2	28,251
自 然	購入 寄付		92	0 0	92
模 型	購入 寄付		200	0 0	200
パ ネ ル	購入 寄付		187	0 0	187
視 聴 覚 室 そ の 他	購入 寄付		10,132	0 0	10,132
図 書	購入 寄付		2,092 49,170	0 1,478	2,092 50,648
合 計			174,732	2,130	176,862

(4) 貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	旧第四高等学校関係資料 合計 115 点	石川四高記念文化交流館での展示のため。	H23.4.1～H24.3.31
中能登町教育委員会	黒氏出土弥生式舟形木器複製 1点	ふるさと創修館での展示のため。	H23.4.1～H24.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 コンテナバット 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館での展示のため。	H23.4.1～H24.3.31
能美市立博物館	人の線刻のある礫 ほか 2点	能美市立博物館での展示のため。	H23.4.1～H24.3.31
射水市新湊博物館	前田利家画像 ほか 6点	企画展「利家夫人 まつ」に展示のため。	H23.4.13～H23.6.15
(財)藩老本多蔵品館	黒韋肩紅白糸威腹巻 ほか 7点	特別展『「加賀八家」と本多家』に展示のため。	H23.4.21～H23.7.31
(財)大野からくり記念館	舎密開宗 2冊	大野からくり記念館企画展「弁吉と加賀藩の化学」に展示のため。	H23.7.14～H23.8.23
前田土佐守家資料館	金沢江戸道中絵巻 ほか 4点	企画展「城下町金沢の中の前田土佐守家—武家屋敷とその暮らし—」に展示のため。	H23.7.11～H23.10.2
(財)藩老本多蔵品館	村松コレクション書画(梅田九栄画幅) 1点	企画展「本多家と御用絵師 6代梅田九栄」に展示のため。	H23.7.21～H23.8.26
白山市立鳥越一向一揆歴史館	顕如画像複製 ほか 2点	白山市立鳥越一向一揆歴史館開館 10周年特別展『加賀一向一揆』に展示のため。	H23.7.29～H23.9.15
石川県銭屋五兵衛記念館	松尾芭蕉書状幅 ほか 6点	企画展「銭屋家と加賀の俳諧」と併展「銭屋千賀女没後 150年を偲ぶ」に展示のため。	H23.7.27～H23.11.7
金沢卯辰山工芸工房	枇杷の葉に蝸牛置物 ほか 2点	特別展「—工芸に見る技と美—『動物の表現・江戸末期から現代まで』」に展示のため。	H.23.9.14～H23.12.9
クリーン・ビーチいしかわ実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション 3点	「いしかわ環境フェア 2011」に展示のため。	H23.8.19～H23.8.23
(財)藩老本多蔵品館	前田利長画像(複製) ほか 2点	特別展「徳川の世と本多政重の奔走」に展示のため。	H23.8.25～H23.12.1
練馬区立石神井公園ふるさと文化館	小野蘭山書状 1点	特別展「江戸時代の百科事始—本草学者小野蘭山の世界—」展に展示のため。	H23.9.8～H23.11.20
長野市立博物館	加賀藩大名行列図屏風 ほか 3点	特別展『道が人をつなぐ 北国街道の 400年』に展示のため。	H23.9.7～H23.11.30
独立行政法人 国立科学博物館	桜井錠二関係資料 22点	企画展「化学者展—ニッポンの近代化学の夜明け—」に展示のため。	H23.9.13～H23.12.20
クリーン・ビーチいしかわ実行委員会	室矢幹夫氏収集漂流物コレクション 3点	「HELLO FIVE.jp まつり」エコブース展示のため。	H23.9.16～H23.9.21
前田土佐守家資料館	茶之湯三伝集 ほか 16冊	企画展「加賀藩上級武士の茶会記—茶の湯の心—」に展示のため。	H23.9.22～H23.12.26
金沢大学資料館	数学問題集 1点	特別展「金大事始—加賀藩種痘所から学都金沢へ—」に展示のため。	H23.9.26～H23.11.21
大谷大学博物館	顕如画像 1点	特別展「親鸞—真宗本廟の歴史—」に展示のため。	H23.10.3～H23.12.6
金沢市立玉川図書館近世史料館	御恐悦盆正月 ほか 3点	特別展「旧藩祖三百年祭と金沢の祭」に展示のため。	H23.10.4～H23.11.22
富山市郷土博物館	小宮山家文書 ほか 4点	企画展「前田利長生誕 450年『富山様』利長」に展示のため。	H23.11.10～H24.2.10
徳田秋聲記念館	雑誌「モダン金沢」 ほか 6点	企画展「『あらくれ』と大正デモクラシー」に展示のため。	H23.11.21～H24.3.28
金沢大学資料館	喜内敏コレクション 11点	企画展「金沢城の今昔」に展示のため。	H23.12.2～H24.3.26
前田土佐守家資料館	加州金沢製糸場之図(内観) ほか 30点	企画展「明治・大正期の前田土佐守家」に展示のため。	H23.1.16～H23.4.23
射水市新湊博物館	北陸線停車場之図 1点	企画展「いみずの鉄道—北陸本線と射水線—」に展示のため。	H24.3.13～H24.7.4

合計 27 件 259 点

(5) 写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真貸与	48件104点(うち非館蔵品15件23点)
写真掲載・放映	73件4,369点
閲覧	101件3,497点
撮影	1件47点

合計 223 件 8,017 点

4. 教育普及活動

(1) 広報

新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
 広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
 各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の17社に随時情報提供
 県内放送局及び新聞社に随時情報提供

インターネットによる情報提供

当館ホームページで最新情報を公開

広報誌「石川れきはく」の発行（年4回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他の公共施設、れきはくメイト会員

「れきはくメイト情報」の発行（年7回）

れきはくメイト会員への各種案内

ポスター、チラシの配布

北陸3県の教育委員会・小中学校、
 県内図書館・公民館・博物館その他の公共施設、
 宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所
 管課 他

新聞広告

平成23年度 秋季特別展広告

(2) 出版

名 称	規 格	ページ数	発行部数
春季特別展「くらし&娯楽の大博覧会-昭和ヒストリー1926~1989-」	ポスター チラシ 図録		800 10,000 700
秋季特別展「染の華 織の心-加賀・能登の技とデザイン-」	ポスター チラシ 図録		800 12,000 800
機関誌「石川れきはく」No.99	A4	6	2,100
機関誌「石川れきはく」No.100	A4	6	2,100
機関誌「石川れきはく」No.101	A4	6	2,100
機関誌「石川れきはく」No.102	A4	6	2,100
れきはく催物案内（平成23年度）	A4 三つ折		30,000
石川県立歴史博物館 紀要第24号	B5	198	500
石川の歴史遺産セミナー講演録 第12回~14回「能登」	A4	138	400

※夏季特別展「宮廷の雅展」は貸館のため、当館での印刷物発行は無かった。



(3) 解説案内サービス

展示室の解説案内等は、主として解説員が担当し、また特に希望のある場合には各部門担当学芸職員が対応する。解説員は学校や一般団体への案内解説や、体験学習の指導のほか、希望により個人への解説も行う。各種問い合わせなどに対応するレファレンス業務は、各部門担当学芸職員が行う。

また、常設展示室の各展示コーナーと展示資料約 100 点について、日本語・英語の音声ガイドを無料で貸し出ししているほか、英語・中国語の解説シートを配置している。

(4) 講座

れきはくゼミナール

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第3土曜日 14:00~15:30
3. 受講料 無料
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

常設展示ワンポイント解説

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 原則毎月第1金曜日 14:00~14:30
3. 受講料 無料 (入館料要)
4. 会場 当館常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月18日	三陸海岸を歩く —震災前と震災後—	本谷 文雄	23人
2	7月9日	信春時代の長谷川等伯	北 春千代	19人
3	8月20日	縄文時代の暮らしと生業	三浦 俊明	19人
4	9月17日	塩と半島の古代史	戸澗 幹夫	14人
5	10月15日	郷土の染と織	大井 理恵	15人
6	11月19日	近世初期前田家の信仰と寺社 政策	塩崎 久代	33人
7	12月17日	海を渡ったからくり師	本康 宏史	22人
8	1月21日	天神堂は江戸から伝わった!?	大門 哲	31人
9	2月18日	金沢の蔵宿	濱岡 伸也	49人
10	3月17日	渤海との交流	岩島千津代	29人

No	開催日	時代・分野	テーマ	担当者	参加者
1	5月6日	民俗	海辺の絵馬堂	前田 武輝	10人
2	6月3日	民俗	里海の暮らし	大門 哲	8人
3	7月1日	古代	木簡にみる古代の加賀・能登	三浦 俊明	14人
4	9月2日	近世	城下町金沢の形成	塩崎 久代	18人
5	10月7日	戦国	本願寺光佐	濱岡 伸也	13人
6	11月11日	近現代	日清日露戦争と金沢	本康 宏史	15人
7	12月2日	民俗	銃後を生きる —人々と暮らし—	大井 理恵	11人
8	1月6日	中世	法華信仰と長谷川等伯	北 春千代	21人
9	2月3日	古代	古代の瓦文様と寺院	岩島千津代	10人
10	3月2日	中世	懸仏への祈り	戸澗 幹夫	13人

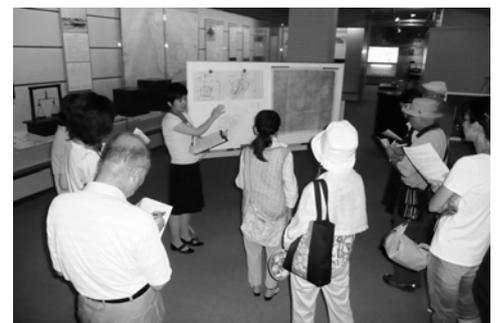
いしかわ県民大学校 歴史講座

(石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める
専門講座)

1. 対象・定員 どなたでも 定員 50 人
2. 開催期間 11月~1月の間に 10 回開催
水曜日 13:30~15:30
3. 参加費 3,000 円 (テキスト代を含む)
4. 会場 当館学習ホール・常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

平成 23 年度 受講生 26 名

No	開催日	テーマ	担当者
1	11月9日	石川の原始	三浦 俊明
2	11月16日	石川の古代 I	戸澗 幹夫
3	11月23日	石川の古代 II	岩島千津代
4	11月30日	石川の中世	塩崎 久代
5	12月7日	石川の近世	濱岡 伸也
6	12月14日	石川の文化財 I	大井 理恵
7	12月21日	石川の絵画	北 春千代
8	1月11日	石川の近現代	本康 宏史
9	1月18日	石川の民俗	大門 哲
10	1月25日	石川の文化財 II	本谷 文雄



常設展示ワンポイント解説



れきはくゼミナール

(5) 博学連携事業

学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に館蔵の体験用資料等を貸し出すことで、学習に役立て歴史をより身近に感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
石川県立金沢北陵高等学校	7月27日～29日	体験用甲冑(一式)、甲冑掛(1)

職場体験受け入れ事業

わく・ワーク体験

学校名	期 間	参加者数
金沢市立兼六中学校	6月29日～7月1日(3日間)	4名
金沢市立額中学校	7月5日～7日(3日間)	6名
金沢市立紫錦台中学校	7月26日～28日(3日間)	6名
金沢大学附属中学校	10月18日～20日(3日間)	4名
石川県立金沢錦丘中学校	11月9日～11日(3日間)	4名

インターンシップ等

学校名	期 間	参加者数
慶応義塾大学	8月23日～24日(2日間)	1名
金沢星稜大学	8月23日～24日(2日間)	1名



教育センターとの連携事業

平成23年度教職員初任者研修の課程の一つとして、当館で講座を実施。

講座名	「ふるさと教育A」
講師	当館学芸員
目的	石川の歴史を理解するとともに、ふるさとについての幅広い知見の育成をはかる
期 日	平成23年9月29日(木) 13:30～16:00
内 容	講義「歴史博物館の見どころと見学指導の在り方」 館内見学・講義「石川の歴史」
参加人数	25名

(6) 博物館実習

受け入れ実習生(合計 8名)

千葉大学 文学部史学科	1人
京都女子大学 文学部史学科	1人
京都女子大学 文学部国文学科	1人
鳥取大学 地域学部 地域文化学科	1人
長岡造形大学 造形学部 建築環境デザイン学科	1人
金沢大学 人文学類日本史学専門分野	1人
金沢大学 人文学類考古学専門分野	1人



博物館実習

月日	時間	実習内容
7月25日 月曜	9:00～9:20	開講式
	9:20～10:30	オリエンテーション
	10:40～12:00	施設案内
	13:00～14:00	学芸課の業務について
	14:10～15:10	普及課の業務について
	15:30～16:40	資料課の業務・総務課業務
	16:40～17:00	今日の確認
7月26日 火曜	9:00～12:00	資料整理実習(石引収蔵庫)
	13:00～14:40	収蔵庫整理実習
	15:00～16:00	フリートーク「博物館のイメージ」
	16:00～16:40	博物館と関係法律
	16:40～17:00	今日の確認
7月27日 水曜	9:00～10:20	資料の取扱い実習(考古)
	10:40～12:00	資料の取扱い実習(民俗)
	13:00～15:00	写真撮影実習
	15:20～16:10	写真資料の利活用と問題点
	16:10～16:40	写真資料の掲載(許認可など)
	16:40～17:00	今日の確認
7月28日 木曜	9:00～10:00	博物館マネジメント
	10:10～12:00	資料の取扱い実習(歴史)
	13:00～14:00	資料の保存・管理とIPM
	14:20～16:40	特別収蔵庫の整理実務
	16:40～17:00	今日の確認
7月29日 金曜	9:00～12:00	資料取扱いと梱包実習
	13:00～16:40	展示実習(第2展)
	16:40～17:00	今日の確認
7月30日 土曜	9:00～10:00	来館者の目線で館内点検
	10:10～12:00	博物館とリニューアル
	13:00～15:00	フリートーク「博物館実習」

(7) れきはくメイトの運営

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	%
	男	女		
~10代	0人	0人	0人	0%
20代	0	0	0	0
30代	5	3	8	2.6
40代	7	2	9	3.0
50代	16	5	21	6.9
60代	53	47	100	32.8
70代	66	45	111	36.4
80代	39	15	54	17.7
90代~	0	1	1	0.3
不明	1	0	1	0.3
合計	187人	118人	305人	100.0%

会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)				(県外)	
金沢市	229	七尾市	2	富山県	6
加賀市	3	能登町	2	福島県	1
小松市	10	輪島市	1	滋賀県	1
白山市	19	珠洲市	3	大阪府	1
能美市	3				
野々市市	4				
内灘町	8				
津幡町	5				
かほく市	4	県内		県外	
宝達志水町	1	(小計)	296	(小計)	9
羽咋市	2			総計	305

れきはくメイト情報の発行

号数	(発行日)	主な内容
146号	(4月20日)	春季特別展・春の歴史散歩
147号	(6月8日)	初夏のバスツアー
148号	(7月13日)	夏季特別展
149号	(9月16日)	秋季特別展・秋の歴史散歩
150号	(9月27日)	150号記念特集・秋のバスツアー
151号	(12月26日)	企画展「新春を祝う」・韓国交流展報告
152号	(2月10日)	企画展「れきはくコレクション2011」



バスツアー・歴史散歩

バスツアー 7月2日	<p>「長浜・湖北の歴史にふれる旅」</p> <p>参加料：7,800円 (入館料・拝観料・交通傷害保険料・昼食費を含む)</p> <p>参加者：39人</p> <p>行程：近江孤篷庵(昼食「レストラン琵琶湖」)・黒壁スクエア自由散策-知善院-長浜別院大通寺</p>
バスツアー 10月26日	<p>「秋麗の敦賀を訪ねて」</p> <p>参加料：7,000円 (入館料・拝観料・交通傷害保険料・昼食費を含む)</p> <p>参加者：40人</p> <p>行程：常宮神社-柴田氏庭園(甘棠園)-(昼食「塩荘すずかけ亭」)-来迎寺-松原公民館(水戸天狗党についての解説)-武田耕雲斎等の墓・水戸烈士記念館-西福寺-昆布館</p>
歴史散歩 5月12日	<p>「八坂から馬坂へ-加賀藩ゆかりの寺院をめぐる-」</p> <p>参加料：300円</p> <p>参加者：22人</p> <p>行程：松山寺(境内のみ)-鶴林寺-雲龍寺(門前のみ)-安楽寺-永福寺-宝円寺(境内のみ)-高源院(門前のみ)-馬坂不動尊</p>
歴史散歩 10月13日	<p>「爽秋の街歩き-本多町から広坂へ-」</p> <p>参加料：200円</p> <p>参加者：25人</p> <p>行程：櫻章校跡地碑・樅の木-旧本多住宅長屋門-鱗町地藏尊-石川国際交流サロン-城南荘</p>



秋の歴史散歩

(8) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成 18 年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、体験学習コーナー内で、主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行う。

平成 23 年度 ボランティア活動

春季 (歴史体験コーナー・近現代編)
活動期間：4月18日～6月3日の平日(29日間)
事前研修：4月14日、15日(いずれか1日)
参加人数：14人

秋季 (歴史体験コーナー・近世編)
活動期間：9月26日～11月11日(32日間)
事前研修：9月21日
参加人数：12人

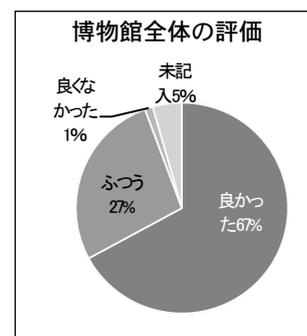
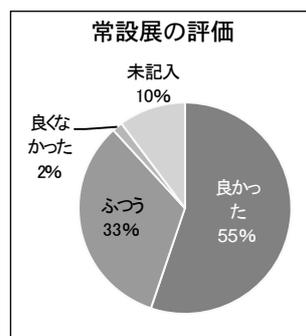
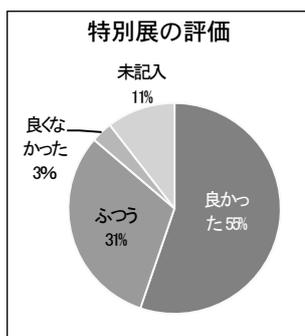


れきはくボランティア

(9) 入館者調査

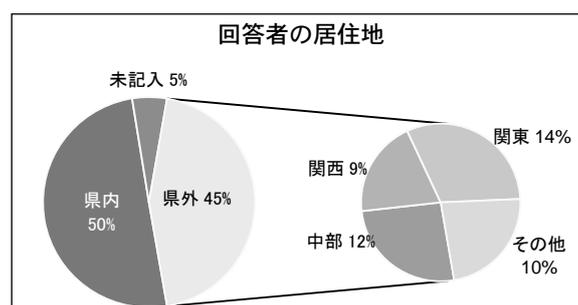
年間を通して、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者(一般個人)に展览会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は星3つ(☆☆☆・良かった)、星2つ(☆☆・ふつう)、星1つ(☆・良くなかった)の選択式と自由記述により、特別展・企画展の開催期間中は特別展・企画展と常設展について、常設展のみの期間は常設展と博物館全体について回答してもらった。下はその評価と、回答者の情報のうち居住地についてのデータを表・グラフにしたものである。

		良かった	ふつう	良くなかった	未記入	回答数(%)
特別展の評価	春季特別展	217 (67.0%)	74 (22.8%)	5 (1.5%)	28 (8.6%)	324 (100%)
	夏季特別展	178 (56.2%)	107 (33.8%)	7 (2.2%)	25 (7.9%)	317 (100%)
	秋季特別展	3 (17.6%)	8 (47.1%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	17 (100%)
	新春を祝う展	48 (44.9%)	36 (33.6%)	9 (8.4%)	14 (13.1%)	107 (100%)
	コレクション展	62 (40.0%)	61 (39.4%)	8 (5.2%)	24 (15.5%)	155 (100%)
	計(%)	508 (55.2%)	286 (31.1%)	30 (3.3%)	96 (10.4%)	920 (100%)
常設展の評価		868 (55.2%)	520 (33.1%)	25 (1.6%)	160 (10.2%)	1573 (100%)
博物館全体の評価		438 (67.1%)	178 (27.3%)	8 (1.2%)	29 (4.4%)	653 (100%)



回答者の居住地

県内	県外	中部	関西	関東	その他	未記入	計
789 (50.2%)	701 (44.6%)	182 (11.6%)	139 (8.8%)	219 (13.9%)	161 (10.2%)	83 (5.3%)	1573 (100%)



5. 入館状況

(1) 入館者数

	開催期間	日数	個人			団体			その他	有料計	無料計	貸展利用者	入館者計
			一般	大学生	計	一般	大学生	計					
常設展	4月	28	1,292	30	1,322	387	30	417		1,739	2,513		4,252
	5月	31	2,328	84	2,412	846	0	846		3,258	5,162		8,420
	6月	28	849	33	882	545	30	575		1,457	1,921		3,378
	7月	29	1,109	65	1,174	391	0	391		1,565	3,830		5,395
	8月	28	2,833	193	3,026	716	11	727		3,753	4,659		8,412
	9月	28	1,129	131	1,260	247	30	277		1,537	2,579		4,116
	10月	31	1,167	46	1,213	476	0	476		1,689	7,724		9,413
	11月	29	1,074	39	1,113	513	1	514		1,627	3,205	945	5,777
	12月	26	488	21	509	216	0	216		725	658		1,383
	1月	28	515	24	539	321	0	321		860	858		1,718
	2月	25	470	59	529	145	5	150		679	698		1,377
	3月	29	896	102	998	282	1	283		1,281	996		2,277
	計	340	14,150	827	14,977	5,085	108	5,193		20,170	34,803	945	55,918
特別展	春季	くらし&娯楽の大博覧会 H23.4.23~6.5(44日)	3,404	128	3,532	1,196	0	1,196		4,728	6,766		11,494
	夏季	宮廷の雅展 H23.7.16~8.28(44日)(貸館)	3,464	219	3,683	899	11	910	519 (小・中・高)	5,112	5,897		11,009
	秋季	染の華 織の心 H23.9.23~11.3(42日)	1,735	79	1,814	719	22	741		2,555	8,985		11,540
	計	130日間	8,603	426	9,029	2,814	33	2,847	519	12,395	21,648		34,043
合計	延470日間	22,753	1,253	24,006	7,899	141	8,040	519	32,565	56,451	945	89,961	

※夏季特別展は貸館であるが、常設展の集計には含んでいない。

(2) 曜日別入館者数(常設展・特別展)

曜日	日	月	火	水	木	金	土	計
入館者数	13,578	10,594	12,341	14,225	13,393	14,848	10,982	89,961
開館日数	51	48	47	48	46	48	52	340
平均	266	221	263	296	291	309	211	265
全団体入館件数	6	37	84	89	93	91	8	408

(3) 小・中・高生地区別入館者数

地区	小学校		中学校		高等学校		計		入館者の割合
	校	人	校	人	校	人	校	人	
加賀地区 (石川以南)	68	3,495	14	274	1	37	83	3,806	20.7
金沢地区	53	3,488	32	1,035	7	493	92	5,016	27.3
能登地区 (河北以北)	35	1,730	13	373	1	66	49	2,169	11.8
富山県	53	3,492	61	2,457	3	36	117	5,985	32.5
福井県	2	37	22	508	1	11	25	556	3
その他	7	510	3	216	4	138	14	864	4.7
合計	218	12,752	145	4,863	17	781	380	18,396	100

II. 施設概要

1. 設備概要

(1) 電気設備

- 受変電設備 受電電圧 6.6KV 変圧器容量 500KVA
- 発電機設備 ディーゼル機関 300PS 1800rpm
発電機 250KVA 3 相交流
- 蓄電池設備 ベント形高率放電用ペースト式据
置形鉛蓄電池 H-200AH 54 セル
- 動力設備 空調用動力 207KW 衛生用動力 13KW
エレベーター動力 60KW
非常用動力 79KW
- 電灯設備 照明器具 1,137 台
展示室内照度最高 340Lx
展示ケース内照度最高 500Lx
- 照明設備 無紫外線管球 (展示室)
- 電子交換機設備 電子交換機 72 回線 内線電話機 36 台
- 放送設備 防災アンプ 360W
- 電気時計設備 水晶発振式親時計 1 回線 子時計 11 個
- 監視テレビ ITV モニター収納架
(モニターテレビ 9in 型白黒 6 台組込)
角度伝動型カメラ 6 台
角度固定型カメラ 6 台
- テレビ・ラジオ共聴視設備
アンテナ VHF-8EL UHF-20EL
FM-5EL AM ホイップ
テレビ・ラジオ受口 14 個
- 防災設備 複合盤自火報 P 型 1 級 50 回線
消火 40 回線、防排煙 90 回線
第 1・2・3 棟避雷設備

(2) 機械設備

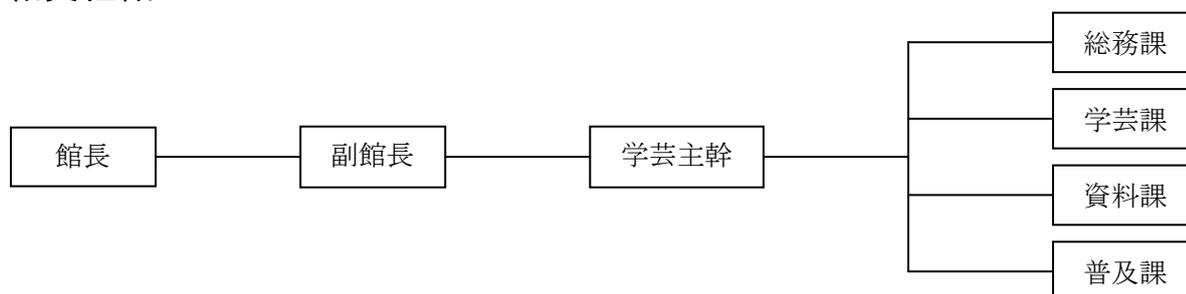
- 空調設備 保存空調温度条件 (SP 可変)
A ランク収蔵 20~24±1.5°C RH60±5%
空調展示ケース 20~24±1.5°C RH60±5%
空調方式
変風量単一ダクト方式 第 1・3 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式
特別展示室、第 5・6 展示室…2 系統
ファンコイルユニット・外気処理併用方式
第 2 棟一般…1 系統
定風量単一ダクト方式 (保存空調系統) …2 系統
熱源
一般系統、吸収冷温水
発生機 100USRT (A 重油) 75USRT (灯油)
保存系統
熱回収型チーリングユニット 30USRT
補助用真空式温水ヒータ 7,500Kcal/h (A 重油)
冷水槽 56 m³、温水槽 84 m³
- 給水設備 市水直結方式 (便所 FV 系統は圧力タンク方式)
- 給湯設備 ガス、電気による局所方式
- 排水設備 建物内分流方式、公共下水道放流
- 消火設備 屋内消火栓 12 ヶ所
ハロゲン化物消火設備 収蔵庫、資料室 3 系統
スプリンクラー
- 排煙設備 機械排煙、第 1・2・3 棟 3 系統
- 融雪設備 井水散水方式
- 昇降機設備 油圧式 荷物 (2.1t) 身障者併用 第 1・2 棟 2 基
身障者用斜行リフト 第 3 棟 1 基

2. 各室面積一覧

部 門	室 名	面 積 (m ²)	部 門	室 名	面 積 (m ²)
展 示	第 1 特別展示室	361.34	教 育 及	学 習 ホール	146.80
	第 2 特別展示室	110.40		閱 覧 室	19.40
	第 1 展 示 室	391.84		計	166.20
	第 2 展 示 室	454.15	調 査 究	研 究 室	115.47
	第 3 展 示 室	388.61		情 報 資 料 室	49.02
	第 4 展 示 室	271.25		文 献 図 書 室	54.45
	第 5 展 示 室	266.57		計	218.94
	第 6 展 示 室	168.38	収 保 蔵 存	古 文 書 室	56.23
	第 7 展 示 室	276.75		特 別 収 蔵 室	160.38
	第 8 展 示 室	301.32		第 1 収 蔵 室	356.89
	歴史体験コーナー	315.87		第 2 収 蔵 室	639.66
	ス ポ ッ ト ル ー ム	21.21		計	1,213.16
	キネマシヤター	36.77	そ の 他	機 械 室	667.95
	展 示 準 備 室	13.14		そ の 他	1,467.01
計	3,377.60	計		2,134.96	
管 理 サ ー ビ ス	休 憩 室	49.35	小 計	7,721.87	
	ロ ッ カ ー 室	19.42	渡 り 廊 下	208.46	
	解 説 員 控 室	13.14			
	ホ ー ル	264.63	合 計	7,930.33	
	事 務 室	166.65			
	副 館 長 室	28.50			
	館 長 室	51.87			
	警 備 室	17.45	敷 地 面 積	28,727.44	
計	611.01				

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成 23 年度（平成 24 年 1 月 1 日現在）

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
館長（非常勤嘱託）	脇田 晴子	学芸課		普及課	
副館長（〃）	新宅 剛	課長（技術）（併）	本康 宏史	課長（技術）	前田 武輝
学芸主幹（再）（技術）	北 春千代		（本務 教育委員会）	学芸専門員（〃）	岩島千津代
学芸主幹（技術）	本谷 文雄	学芸専門員（〃）（併）	大門 哲	学芸主任（〃）	大井 理恵
学芸主幹（〃）	戸澗 幹夫		（本務 教育委員会 兼 白山ろく民俗資料館）	非常勤嘱託	島 響子
		学芸主任（〃）	三浦 俊明		
		非常勤嘱託	中村 聡子		
総務課		資料課			
課長（事務）	小原 卓	課長（技術）	濱岡 伸也		
主幹（〃）	森 孝弘	学芸員（〃）	塩崎 久代		
企画管理専門員	谷口 秀子	非常勤嘱託	前多 令子		
技師	山崎 栄司				
非常勤嘱託	谷内 優子				

3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成 23 年度		
	当初予算	最終予算	決算額
運営費	52,640	55,018	54,616
案内解説事業費	15,690	14,990	14,990
展示費	7,374	5,883	5,858
調査普及費	15,192	16,858	16,829
整備費	1,600	1,550	1,550
国際交流費	6,300	6,503	6,503
石引分室管理事業費	965	1,475	1,475
米泉収蔵庫管理事業費	0	396	396
リニューアル基本設計費	54,000	43,949	43,776
計	153,761	146,622	145,993

4. 事務分掌

平成 23 年度（平成 24 年 1 月 1 日現在）

総務課	学芸課
<ol style="list-style-type: none">1 課内事務の統括に関する事。2 出納事務に関する事。3 諸規定の運営に関する事。4 防犯及び防災計画に関する事。5 運営審議会の連絡調整に関する事。6 他の課に属しない事務に関する事。7 予算・決算に関する事。8 委託等契約事務に関する事。9 財産の維持及び管理に関する事。10 情報政策推進員業務に関する事。11 物品及び収入・支出経理に関する事。12 文書管理事務に関する事。13 公用車の運転及び整備に関する事。14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。15 職員のサービス及び給与、旅費等に関する事。	<ol style="list-style-type: none">1 学芸活動の企画・調整に関する事。2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。3 常設展の調整・改善に関する事。4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事。5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。6 石川の歴史遺産セミナーに関する事。7 紀要の作成に関する事。8 貸館の企画・調整に関する事。9 寄贈図書等の受入・整理に関する事。10 文化財情報の収集・整理に関する事。11 その他学芸補助に関する事。
資料課	普及課
<ol style="list-style-type: none">1 資料の調査・受入に関する事。2 資料の保存・修理に関する事。3 資料の複製・模型に関する事。4 資料の貸与及び特別利用に関する事。5 借用資料のとりまとめに関する事。6 収蔵品の保全・管理に関する事。7 コレクション展に関する事。8 運営審議会・資料評価部会に関する事。9 博物館実習に関する事。	<ol style="list-style-type: none">1 普及事業の企画・調整に関する事。2 学校教育との連携に関する事。3 社会教育機関との連携に関する事。4 県民大学校に関する事。5 ホームページに関する事。6 広報活動の企画・実施に関する事。7 れきはくメイトに関する事。8 入館者の動向調査に関する事。9 ボランティアに関する事。10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。11 石川れきはく編集・発行に関する事。12 各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会（以下「運営審議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格（以下「資料の評価等」という。）に関し審議する専門部会（以下「資料評価専門部会」という。）を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成23年11月17日（木）

会場 本館学習ホール

- 議事 (1) 平成23年度事業の執行状況について
(2) 平成24年度事業計画について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

<第2回> 平成24年3月5日（月）

会場 本館学習ホール

- 議事 (1) 平成23年度事業の執行状況について
(2) 平成24年度事業計画及び予算について
(3) 歴史博物館のリニューアルについて

委員名簿（13名）

（平成24年3月1日現在）

氏名	役職	委員の構成	備考
北西 弘	元大谷大学学長	学識経験者	資料評価専門部会員
高澤 裕一	金沢大学名誉教授	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
橋本 澄夫	石川考古学研究会名誉会長	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	元金沢美術工芸大学美術工芸学部教授	〃	
浅香 久美子	金沢市教育長	〃	
高屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
笠井 純一	金沢大学人間社会学域歴史文化学系教授	〃	
橘 禮吉	加能民俗の会名誉会長	〃	資料評価専門部会員
藤多 典子	石川県婦人団体協議会役員	社会教育関係者	
川岸 典子	石川県小学校長会（金沢市立西小学校長）	学校教育関係者	
普照 豊	石川県中学校長会（金沢市立浅野川中学校長）	〃	
末平 万紀子	石川県高等学校長会（県立ろう学校長）	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収（石川県立歴史博物館使用料条例第3条による徴収〔常設展〕）平成18年6月30日より

区 分	一般（18歳以上の者）	250円（200円）
	大学の学生及びこれに準ずる者	200円（160円）
※（ ）は20人以上の団体割引料金		

- ・・・18歳未満は高校生でなくても無料である。
- ・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づく許可を受けている学校の学生。
(年令不問ただし証明するものがあること)

(2) 石川県立歴史博物館使用料等減免基準

(石川県立歴史博物館使用料施行規則第5条第1項第1号、2号、3号による使用料の減免)

項 目			減 免 後 の 入 場 料	
			常 設 展	特 別 展
第5条 第1項第1号		小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	無 料	無 料
第5条 第1項第2号		県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者	無 料	無 料
第5条 第1項第3号	1	身体障害者手帳又は療育手帳又は精神保健福祉手帳を所持する者及び社会福祉施設利用者	祝 日	団体料金
			その他	
	2	上記1付添者(手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無 料	無 料
	3	65歳以上の者	祝 日	団体料金
その他				
	4	入館を予定する学校団体の教師(下見)	無 料	無 料
	5	幼稚園、保育園等の団体の引率者	無 料	無 料
	6	取材目的をもって観覧する報道関係者	無 料	無 料
	7	資料調査を目的として観覧する者	無 料	無 料
	8	石川県博物館協議会会員証及び日本博物館協会会員証を所持する者(提示者本人と同伴者1名の計2名まで)	無 料	無 料
	9	歴史博物館招待券を所持する者	無 料	無 料
	10	歴史博物館れきはくメイト会員証を所持する者	無 料	団体料金
	11	石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証を所持する者	団体料金	団体料金
	12	金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を提示する者(提示者本人と同伴者1名の計2名まで)	団体料金	団体料金
	13	兼六園周辺文化施設鑑賞パスポートを所持する者(パスポート提示段階では徴収なし)600円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	14	兼六園・文化施設共通利用券(兼六園プラス1)を所持する者(利用券提示段階では徴収なし)個人500円、団体(30名以上)400円で販売	料金は近代文学館が徴収	特別料金を別途徴収
	15	KGGN(金沢グッドウィルガイドネットワーク)の身分証明書を所持する者	無 料	無 料
	16	タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員及びボランティアガイド‘まいどさん’で客と同行して入場する者	無 料	無 料
	17	かなざわ冬の旅観光キャンパースタンプラリー参加者	団体料金	団体料金
	18	「ほっと石川観光倶楽部」の会員証を提示する者及び同伴者全員	団体料金	団体料金
	19	金沢市文化施設共通観覧券を所持する者	団体料金	団体料金
	20	ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者(事前に申し出た場合に限る)	無 料	無 料
	21	石川県職員互助会発行の県立美術館・歴史博物館共通利用補助券を所持する者(共通券提出段階で常設展は徴収なし、特別展は差額徴収)	無 料	団体料金から300円引いた額を徴収
	22	石川県教職員互助会の発行する石川県立歴史博物館利用券(特別展名入り)を所持する者(利用券提出段階で当該特別展の団体料金を徴収)	利用不可	団体料金
	23	金沢勤労者福祉サービスセンター発行の文化施設無料利用券を所持する者(利用券提出段階で常設展のみ徴収なし、特別展開催時は利用できない)	無 料	通常料金徴収
	24	金沢・加賀ぐるりんパスを所持する者(ぐるりんパス及びびかえり券の提示段階では徴収なし)	料金はJR西日本が徴収	特別料金を別途徴収
	25	金沢・加賀百万石パスポートを所持する者(パスポート提示段階では徴収なし)大人2,000円で販売	料金はトップツアーが徴収	特別料金を別途徴収
	26	その他の理由により必要と認められる者	無料または団体料金	無料または団体料金

館長が特別の理由により必要と認めたととき

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和32年3月27日条例第14号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項、図書館法(昭和25年法律第118号)第10条、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第2条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、

次のとおりとする。

名称	位置	事業内容
石川県立歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和61年3月22日条例第24号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成18年6月30日石川県規則第43号)

(趣旨)

第1条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例(昭和32年石川県条例第14号)第11条の規定により、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 歴史博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室への入室は、午後4時30分までとする。

(休館日)

第3条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
- 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第4条 前2条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第5条 石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)は、次の各号の1に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- 前2号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第6条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- 館長の許可を受けずに、展示品の撮影、模写等をしていないこと。

- 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。

(7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第7条 歴史博物館が所蔵する資料(以下「所蔵品」という。)の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等(以下これらを「特別利用」という。)をしようとする者は、別記様式第1号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第1号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第1項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(第1特別展示室に限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしない

ことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設（以下「使用許可施設」という。）以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと（第三者をして行わせる場合を含む。）。
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者がいるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第20条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和25年法律第214号）又は石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

(資料の受託)

第21条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年6月30日規則第43号）

この規則は、公布の日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例（平成18年6月30日条例第29号）

(趣旨)

第1条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第3条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表1のとおりとする。

(施設使用料)

第4条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表2において「使用者」という。）から施設使

用료를徴収する。

2 施設使用料の額は、別表2のとおりとする。

(使用料の納付等)

第5条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第2項の規定は昭和61年4月1日から施行する。(昭和61年10月規則第43号で、同61年10月25日から施行)

2 石川県立郷土資料館入場料条例(昭和43年石川県条例第38号)は、廃止する。

附 則 (平成元年3月24日条例第5号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成18年6月30日条例第29号)

この条例は、公布の日から施行する。

別表第1(第3条関係)

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体 (20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	250円	200円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	200円	160円

2 特別展示を観覧する場合

1,000円の範囲内で知事がその都度定める額

別表第2(第4条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金(次項において「料金」という。)を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
第1特別展示室	1日につき	18,400円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に100分の130を乗じて得た額備考

1 「1日」とは、午前9時から午後5時までをいう。

2 使用時間が1日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該1日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則(平成19年3月30日 規則第22号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例(昭和61年石川県条例第26号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第2条 条例第3条第1項の規定により入場料を徴収したとき(前納したときに限る。)は、当該被徴収者に別記様式第1号に規定する入場券を交付するものとする。

(使用料の後納)

第3条 条例第5条第1項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

(1) 旅行業法(昭和27年法律第239号)第3条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。

(2) その他石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)が特別の理由により必要と認めるとき。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書きの規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。施設使用料の全額

(2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前10日までに使用の取消しを届け出たとき。施設使用料の100分の60に相当する額

(3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請求書に入場料の返還の場合にあっては、入場券を添えて、館長

に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。使用料の全額

(2) 生活保護法(昭和25年法律第144号)に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内に居住する者が入場するとき。使用料の全額

(3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和61年10月25日から施行する。

附 則 (平成元年3月31日規則第25号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則 (平成7年月28日規則第33号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年3月31日規則第35号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則 (平成18年6月30日規則第41号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月30日規則第22号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

V. 日記（抄）

平成 23(2011)年 4 月 1 日～平成 24(2012)年 3 月 31 日

平成23(2011)年

- 4.6 歴史体験コーナー近現代編(～8.28)
- 4.9 兼六園周辺文化の森「さくらめぐり」協賛行事「本多の森 屋外展示ツアー」
- 4.18 れきはくボランティア(～6.3)
- 4.21 展示準備休館(～4.22)
- 4.23 春季特別展「くらし&娯楽の大博覧会 -昭和ヒストリー 1926～1989-」(～6.5)
- 4.24 春季特別展ギャラリートーク①「昭和の娯楽」
- 4.29 春季特別展トークショー「コレクター、昭和を語る」(ゲスト:上田輝一氏)
- 5.6 常設展示ワンポイント解説①「海辺の絵馬堂」
- 5.8 春季特別展ギャラリートーク②「昭和のくらし」
- 5.10 愛鳥週間関連企画展「本州最後のトキ『能里』に会おう！」(～5.16)
- 5.12 れきはくメイト 春の歴史散歩「八坂から馬坂へー加賀藩ゆかりの寺院をめぐるー」
- 5.27 リニューアル プロポーザル現地説明会
- 5.30 古文書とお友だち①
- 6.3 常設展示ワンポイント解説②「里海の暮らし」
- 6.6 展示準備休館(～6.7)
- 6.8 歴史スポット展示コーナー「成長への祈りー出産・子育ての儀礼と信仰ー」(～7.13)
- 6.14 歴史スポット展示コーナー「成長への祈り」フロアトーク
- 6.18 れきはくゼミナール①「三陸海岸を歩くー震災前と震災後ー」
- 6.22 古文書とお友だち②
- 6.26 第12回石川の歴史遺産セミナー「近世・近代能登の生産と海運」(講師:見瀬和雄氏 中西聡氏 濱岡伸也)
- 6.29 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立兼六中学校 ～7.1)
- 7.1 常設展示ワンポイント解説③「木簡にみる古代の加賀・能登」
- 7.2 れきはくメイト 初夏のバスツアー「長浜・湖北の歴史にふれる旅」
- 7.5 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立額中学校 ～7.7)
- 7.9 れきはくゼミナール②「信春時代の長谷川等伯」
- 7.14 展示準備休館(～7.15)
- 7.16 夏季特別展「宮廷の雅展 有栖川宮家から高松宮家へ」(～8.28)
- 歴史スポット展示コーナー「県庁の菊花紋章」(～9.20)
- 7.20 古文書とお友だち③
- 7.23 夏季特別展講演会「二つの修学院図屏風」(講師:学習院大学教授 小林忠氏)
- 夏季特別展ギャラリートーク(講師:小林忠氏)
- 7.25 博物館実習受け入れ(～7.30)
- 7.26 わく・ワーク職場体験受け入れ(金沢市立紫錦台中学校 ～7.28)
- 8.20 れきはくゼミナール③「縄文時代の暮らしと生業」
- 8.23 インターンシップ受け入れ(～8.24)
- 8.29 展示準備休館(～8.31)
- 9.2 常設展示ワンポイント解説④「城下町金沢の形成」
- 9.6 歴史体験コーナー近世編(～H24.3.25)
- 9.11 第13回石川の歴史遺産セミナー「能登島山氏の成立と展開」(講師:川岡勉氏 宮島新一氏)
- 9.17 れきはくゼミナール④「塩と半島の古代史」
- 9.21 展示準備休館(～9.22)
- 9.23 秋季特別展「染の華 織の心ー加賀・能登の技とデザインー」(～11.3)
- 歴史スポット展示コーナー「絵巻・刷物で行くー能登・加賀ー」(～11.3)
- 9.25 秋季特別展講座①よくわかる展覧会ガイド「加賀お国染」講座(講師:花岡博司氏)
- 9.26 古文書とお友だち④
- れきはくボランティア(～11.11)
- 10.1 秋季特別展関連イベント「能登上布 機織り実演」
- 10.5 兼六園周辺文化の森ミュージアムウィーク 文化の森ミニツアー「秋の歴博探検隊」
- 10.7 常設展示ワンポイント解説⑤「本願寺光佐」



本多の森 屋外展示ツアー



れきはくボランティア研修



春の歴史散歩



プロポーザル現地説明会



初夏のバスツアー

- 10.8 秋季特別展ギャラリートーク①
- 10.13 れきはくメイト 秋の歴史散歩「爽秋の街歩きー本多町から広坂へー」
- 10.15 れきはくゼミナール⑤「郷土の染と織」
- 10.17 歴史スポット展示コーナー「絵巻・刷物で行く」フロアトーク
- 10.18 日韓姉妹館交流20周年記念特別展「平和と繁栄ー江戸時代の石川の社会と文化」(～11.27)
トライやる・ワーク(金沢大学附属中学校 ～10.20)
- 10.19 古文書とお友だち⑤
- 10.23 秋季特別展講座②きもの文化トーク「きものを楽しむ・きものと暮らす」
(講師:花岡博司氏)
- 10.26 れきはくメイト 秋のバスツアー「秋麗の敦賀を訪ねて」
- 10.29 秋季特別展ギャラリートーク②
- 11.4 展示準備休館
- 11.5 歴史スポット展示コーナー「千秋家と末森合戦」(～12.26)
- 11.9 いしかわ県民大学校 歴史講座 開講式 ①「石川の原始」
わく・ワーク職場体験受け入れ(石川県立金沢錦丘中学校 ～11.11)
- 11.11 常設展示ワンポイント解説⑥「日清日露戦争と金沢」
- 11.12 第14回石川の歴史遺産セミナー「能登の祭り文化」
(講師:植木行宣氏 小境卓治氏 西山郷史氏)
- 11.16 いしかわ県民大学校②「石川の古代Ⅰ」
- 11.19 れきはくゼミナール⑥「近世初期前田家の信仰と寺社政策」
- 11.20 歴史スポット展示コーナー「千秋家と末森合戦」フロアトーク
- 11.23 いしかわ県民大学校③「石川の古代Ⅱ」
- 11.25 古文書とお友だち⑥
- 11.30 いしかわ県民大学校④「石川の中世」
- 12.2 常設展示ワンポイント解説⑦「銃後を生きる一人々と暮らしー」
- 12.7 いしかわ県民大学校⑤「石川の近世」
- 12.13 古文書とお友だち⑦
- 12.14 いしかわ県民大学校⑥「石川の文化財Ⅰ」
- 12.17 れきはくゼミナール⑦「海を渡ったからくり師」
- 12.21 いしかわ県民大学校⑦「石川の絵画」
- 12.27 年末年始休館(～H24.1.3)



秋の歴博探検隊



韓国交流展作業



秋のバスツアー

平成24(2012)年

- 1.4 企画展「新春を祝うー辰年のお正月ー」(～2.5)
- 歴史スポット展示コーナー「金沢の先触れ面ー消えゆく仮面文化ー」(～2.5)
- 1.6 常設展示ワンポイント解説⑧「法華信仰と長谷川等伯」
- 1.11 いしかわ県民大学校⑧「石川の近現代」
- 1.15 企画展「新春を祝う」関連イベント 両館ギャラリートーク
(藩老本多蔵品館との共催)
- 1.18 いしかわ県民大学校⑨「石川の民俗」
- 1.20 古文書とお友だち⑧
- 1.21 れきはくゼミナール⑧「天神堂は江戸から伝わった!？」
- 1.25 いしかわ県民大学校⑩「石川の文化財Ⅱ」 閉講式
- 2.3 常設展示ワンポイント解説⑨「古代の瓦文様と寺院」
- 2.6 展示準備休館(～2.7)
- 2.8 歴史スポット展示コーナー「びっくり! 埋蔵銭がザックザク」(～3.20)
- 2.16 展示準備休館(～2.17)
- 2.18 企画展「れきはくコレクション2011」(～3.20)
れきはくゼミナール⑨「金沢の蔵宿」
- 2.20 古文書とお友だち⑨
- 2.26 企画展「れきはくコレクション2011」ギャラリートーク①
「戦争の時代から高度成長期へ」
- 3.2 常設展示ワンポイント解説⑩「懸仏への祈り」
- 3.4 企画展「れきはくコレクション2011」ギャラリートーク②
「新収蔵 前田家関係史料」
- 3.10 企画展「れきはくコレクション2011」ギャラリートーク③
「金沢最後の浮世絵師 島野春彰」
- 3.11 企画展「れきはくコレクション2011」ギャラリートーク④
「金沢町人の生活」
- 3.17 れきはくゼミナール⑩「渤海との交流」
- 3.21 展示準備休館(～3.22)
- 3.23 歴史スポット展示コーナー「『平家物語』を読んで、見る?」(～4.18)



企画展「新春を祝う」



いしかわ県民大学校 閉講式

石川県立歴史博物館 年報
第15号 平成23年度版
平成25年3月31日発行

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町3番1号
TEL (076) 262-3236
印刷 前田印刷株式会社



石川県立歴史博物館